事務局／川崎こどもクリニック
〒597-0102　大阪府貝塚市木積656-7
Fax:072-421-2036　e-mail:kawasaki@kawasaki-kc.jp

日本外来小児科学会
The Society of Ambulatory and General Pediatrics of Japan

The 24th Annual Meeting of the Society of Ambulatory and General Pediatrics of Japan

SAGPJ 2014

第24回 日本外来小児科学会 年次集会 ご案内

2014年8月30日(土)・31日(日)

前夜セミナー：8月29日(金)

大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル大阪

会　長 藤岡雅司 ふじおか小児科

事務局 川崎康寛 川崎こどもクリニック

年次集会公式ウェブサイト
http://sagpj24.umin.jp/

子どもたちの幸せを目指して

―今、私にできること―

CONTENTS

会長挨拶…… 1
年次集会概要…… 2
タイムスケジュール …… 4
会場アクセス・周辺図 …… 6
参加登録 (事前登録) …… 7
一般演題 (募集) …… 8
ワークショップ(WS) (事前参加申込) …… 10
熱血リレー発表会 (募集) …… 24
セミナー …… 25
シンポジウム …… 29
ミニシンポジウム …… 30
前夜セミナー …… 31
ハンズオンセミナー (事前参加申込) …… 32
パネル展示 (募集) …… 33
患者家族の会・支援者の会展示 (募集) …… 34
託児 (事前申込) …… 35
宿泊 (予約申込) …… 36
日本外来小児科学会入会手続きについて …… 37

開 始 日

4月15日(火) 事前参加登録
懇親会事前申込
一般演題募集
WS事前参加申込
リレー発表会募集
ハンズオンセミナー事前参加申込
パネル展示募集
患者家族の会・支援者の会展示募集
託児事前申込
宿泊予約申込

締 切 日

5月10日(土) WS事前参加申込
ハンズオンセミナー事前参加申込
5月31日(土) 一般演題募集
リレー発表会募集
患者家族の会・支援者の会展示募集
6月30日(月) パネル展示募集
7月15日(火) 事前参加登録
懇親会事前申込
7月31日(木) 宿泊予約申込
8月19日(火) 託児事前申込

「日本小児科学会専門医制度研修として8単位」
「日本小児神経学会小児神経専門医研修として2単位」が取得できます。

当学会は子どもの健康を守るために禁煙運動を推進しております。
年次集会会場では全面禁煙といたしますので、参加される皆様のご協力をお願いいたします。

第24回日本外来小児科学会年次集会

子どもたちの幸せを目指して
ー今、私にできることー

ご あ い さ つ

第24回年次集会会長　藤 岡 雅 司

きびしい寒さもようやく過ぎ去り、のどかな春のよい季節となりました。

さて、今年も皆さまに年次集会のガイドブックをお送りする季節を迎えることができました。学会誌などでお知らせしていたとおり、第24回日本外来小児科学会年次集会は、8月30日、31日に大阪市の大阪国際会議場と隣接するリーガロイヤルホテル(大阪)で開催いたします。関連行事として、4月6日には同じ会場で春季カンファレンス2014大阪を予定しています。

今回の年次集会では、総合テーマとして**「子どもたちの幸せを目指して　ー今、私にできることー」**を掲げました。外来小児科に関わっている私たちが、日常の仕事をしていて、やりがいを感じるのはどのようなときでしょうか?私自身は、子どもたちの屈託のない笑顔に接したときです。今の仕事をしていてよかったと、もっとも強くやりがいを実感できる至福のひとときです。

子どもたちには心の底から笑って欲しい。すべての子どもたちが幸せであって欲しい。これこそ子どもたちに接する仕事に携わる私たち大人の願いではないでしょうか。しかし、子どもたちを取り巻く環境にはいつの時代もさまざまな問題が山積しています。私たち大人には、子どもたちのために、子どもたちに代わって、問題の解決を目指して行動することが望まれています。

今回のテーマには、外来小児科に関係する私たち一人ひとりが、子どもたちの幸せを目指して今まで何をしてきたのかを問い直すと共に、今から何ができるのか、何をするのかという行動につなげていただく機会として欲しいという、実行委員会の真摯な気持ちが表現されています。

具体的なプログラムですが、例年通り、一般演題とワークショップを中心に組んでいます。また、学会活動の四本柱である、研究、教育、診療、アドボカシーに関するシンポジウムやセミナーも企画しました。特別講演や特別企画では学会外の著名な方々に魅力あるテーマでのご講演を依頼しています。初めての取り組みである、患者家族の会のミニシンポジウムや「熱血リレー発表会」にもご期待ください。

このガイドブックを手にしていただき、何を発表しようか、何に参加しようか、いろいろ考えてみてくださることを、実行委員一同心から望んでいます。一般演題やワークショップなど応募や事前登録の必要なものも忘れずにお願いします。

2014年は春も夏も大阪にぜひお越しください。全国の多くの方々とお会いできることを楽しみにしています。子どもたちを思う熱い気持ちをみんなで共有していきましょう!

年次集会概要

テーマ　**子どもたちの幸せを目指して　ー今、私にできることー**
会　期　2014年8月30日(土)・31日(日)　前夜セミナー：8月29日(金)
会　場　大阪国際会議場　大阪市北区中之島5−3−51
　　リーガロイヤルホテル大阪　大阪市北区中之島5−3−68
会　長　藤岡雅司(ふじおか小児科／大阪府富田林市)
事務局　川﨑康寛(川崎こどもクリニック／大阪府貝塚市)
公式ウェブサイト　http://sagpj24.umin.jp/

総会　8月30日(土) 午後

会長講演　8月30日(土) 午後

「外来小児科学会の過去・現在・未来　ー子どもたちの幸せのため、私たちは何をなすべきかー」

一般演題　口　演　8月30日(土) 午後　P8
ポスター 8月30日(土)、8月31日(日)

日常診療に関連するリサーチだけでなく、診療活動や現在進行中の内容に関する演題でも構いません。医師だけでなくスタッフの方々からの応募も大歓迎です。診療活動など気軽に発表してください。

ワークショップ(WS)　8月30日(土) 午前、8月31日(日) 午前　要事前参加申込　P10

全国から集まった参加者が意見を出し合い、討論を通じてお互いに刺激し合いながら、自分たちにしか作れないオリジナルのプロダクトや参加者自身の行動変容を目指します。新しい気づきや体験は、参加者にとってかけがえのない経験となるでしょう。

熱血リレー発表会　8月31日(日) 午後　要事前登録　P24

本年次集会のテーマ「子どもたちの幸せを目指して　ー今、私にできることー」に対して、参加者の皆様がすでに実践しておられる取り組みを、全国からの参加者に向けてステージで発表していただくというものです。お一人5分で、リレー形式で発表していただきます。

セミナー　8月30日(土) 午前、午後、8月31日(日) 午前、午後　P25

ワークショップに参加されない方のために、外来小児科に関連するテーマでのセミナーを用意しました。それぞれの分野において実際に活動しておられる方々に講師をお願いしていますので、豊富な経験に基づいた興味深いお話を聞けること間違いなしです。

シンポジウム　8月30日(土) 午前、午後　P29

本年次集会のテーマ「子どもたちの幸せを目指して　ー今、私にできることー」を具体的にとらえ、どのように実際の行動に繋げていくかを共に考えるシンポジウムです。午前の部ではクリニックや地域における会員の多彩な活動を紹介していただきます。午後の部では「小児のプライマリ・ケア」に焦点を絞り、責任ある体制を提供するために必要なことは何か、日本外来小児科学会会員として何をなすべきかを、討論していく場としたいと考えています。

ミニシンポジウム　8月30日(土) 午後　P30

「子ども・家族と医療をつなぐ　ー当事者から学ぼう、いのち輝く医療ー」

今回は初めての試みとして、年次集会でのブース展示にご協力いただいている患者家族の会・支援者の会の方々に、日頃の活動の紹介などをおこなっていただきます。

特別講演　8月30日（土）午後、8月31日（日）午後

8月30日は、NPO法人 保育の安全研究・教育センター代表理事の掛札逸美さんに「『わかっていても、しない、できない?いやできる!』～保護者の健康・安全心理を理解する～」、8月31日は、株式会社WEDDGE代表の岡澤ひとみさんに「リッツ・カールトンから学ぶホスピタリティーの神髄」と題してご講演いただきます。

特別企画　8月31日（日）午後

「パラサイト・イブ」、「小説版ドラえもん のび太と鉄人兵団」、「パンデミックとたたかう」などの著作で有名なSF作家の瀬名秀明さんに「未来を想像し、未来を創ることについて～“生まれかけの贈りもの”としての生命科学と医療を考える～」と題してご講演いただきます。

ハンズオンセミナー　8月31日（日）午前　要事前参加申込　P32

「外傷と熱傷の湿潤療法」の実際を学んでいただくための講演と実習のセミナーです。

ランチョンセミナー　8月30日（土）、8月31日（日）昼

抄録・プログラム集でご案内いたします。

前夜セミナー　8月29日（金）夜　事前登録不要　無料　P31

コメディカルミーティング　8月31日(日) 午後

コメディカルの皆さんへ

お帰り前にちょっとお茶していきませんか?

コメディカルスタッフがいてくれてこその日常の医療現場。コメディカルの皆さんは、日本外来小児科学会にどんな期待をしているんだろう、そんなことをお聞きしたいと思い、学会理事会の診療部会の担当者が、仲間のコメディカルスタッフとともに、お茶とお菓子を用意して、お帰り前のコメディカルの皆さんとお話ししたいと思ってお待ちしています。

本音トーク大歓迎!　ぜひ、お立ち寄りください。

医学生ミーティング（こどもどこ in 年次集会）　8月31日(日) 午後

「こどもどこ」は、小児科に興味がある、医学部生・初期研修医のためのグループです。
年に5～6回程度、ワークショップを様々な先生を講師にお招きしながら、参加者をメーリングリストやネットで募り、全国の大学や小児科学会などで開催しています。

今回年次集会でのテーマは、「小児QOL」「チャイルド・ケモ・ハウス」「小児がん」です。

各種展示　8月30日（土）、8月31日（日）　P33、34

患者家族の会・支援者の会／パネル展示／協賛企業展示

懇親会（リーガロイヤルホテル大阪）　8月30日（土）夜

年1回の大切な懇親の場としていただけるよう鋭意企画中です。事前申込をお願いします。

ウォーキング　8月31日（日）早朝

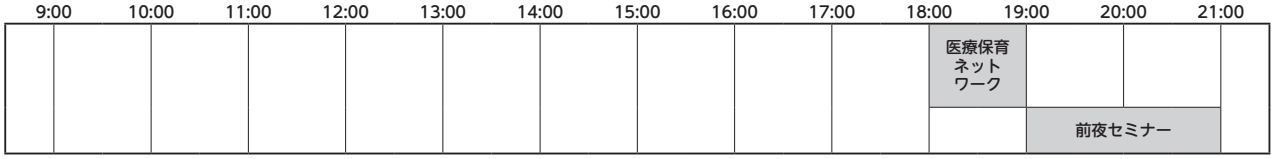
会場周辺の中之島地区は淀川の支流にはさまれた、大阪でも景観の素晴らしい地域です。すがすがしい朝の時間帯にウォーキングはいかがですか。

託児サービス　8月30日（土）、8月31日（日）　要申込　有料　P35

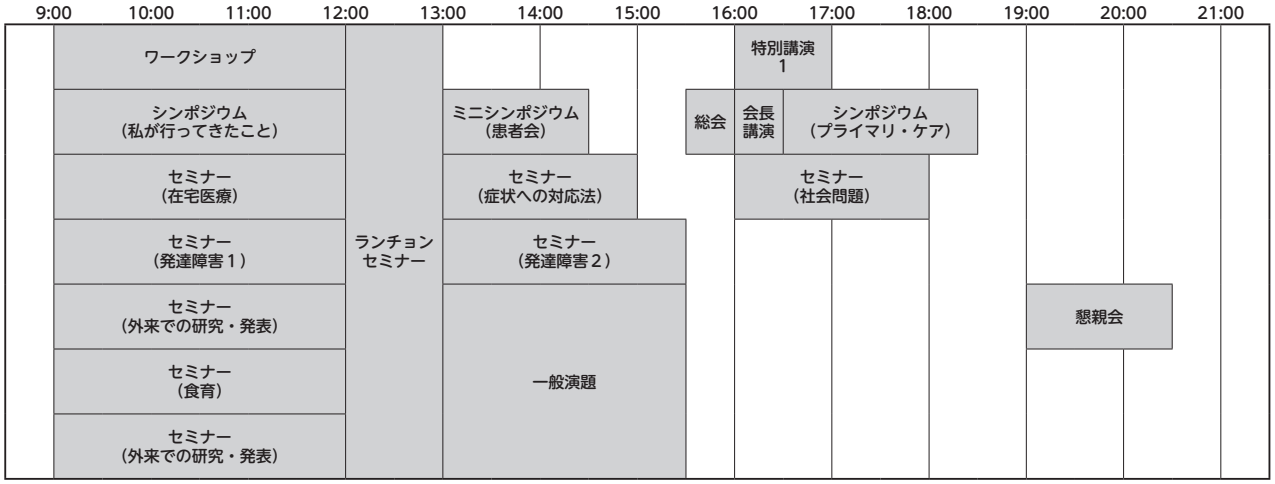
託児所を会場内に設置します。事前申込が必要です。本ガイドブック、年次集会ウェブサイトで詳細をご確認ください。

タイムスケジュール

8月29日(金)



8月30日(土)



8月31日（日）

■ガイドブックの販売について

コメディカルスタッフにもガイドブックを渡したい!
日本外来小児科学会にまだ入会していない友人を年次集会に誘いたい!
そんな声にお応えしてガイドブックを販売いたします。

■料金

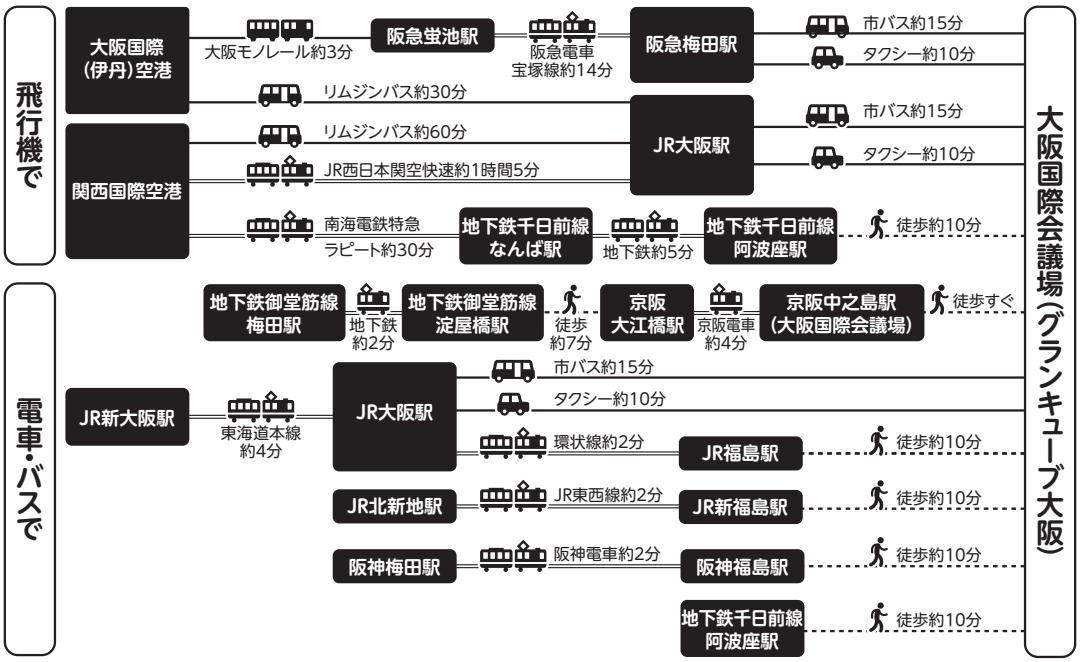
価　格：ガイドブック1冊あたり200円
送　料：5冊まで400円、10冊まで500円
お支払いはガイドブック送付後にお願いします。

■お申込方法

(1)パソコンから
年次集会公式ウェブサイトから、あるいは直接http://ws.formzu.net/fgen/S93055620/
にアクセスして、必要事項を入力送信する。

(2)携帯電話から
下記QRコード読み取り、あるいは直接 http://ws.formzu.net/mfgen/S93055620/
にアクセスして、必要事項を入力送信する。

会場アクセス・周辺図



≪最寄駅≫　京阪電車　中之島線「中之島(大阪国際会議場)駅」(2番出口すぐ)

≪JR「大阪駅」からのアクセス≫

①大阪市バス(運賃：200円)JR大阪駅前バスターミナルより

「船津橋」行にて、「堂島大橋」停留所下車すぐ(大阪市バス黄色2番のりば53系統)

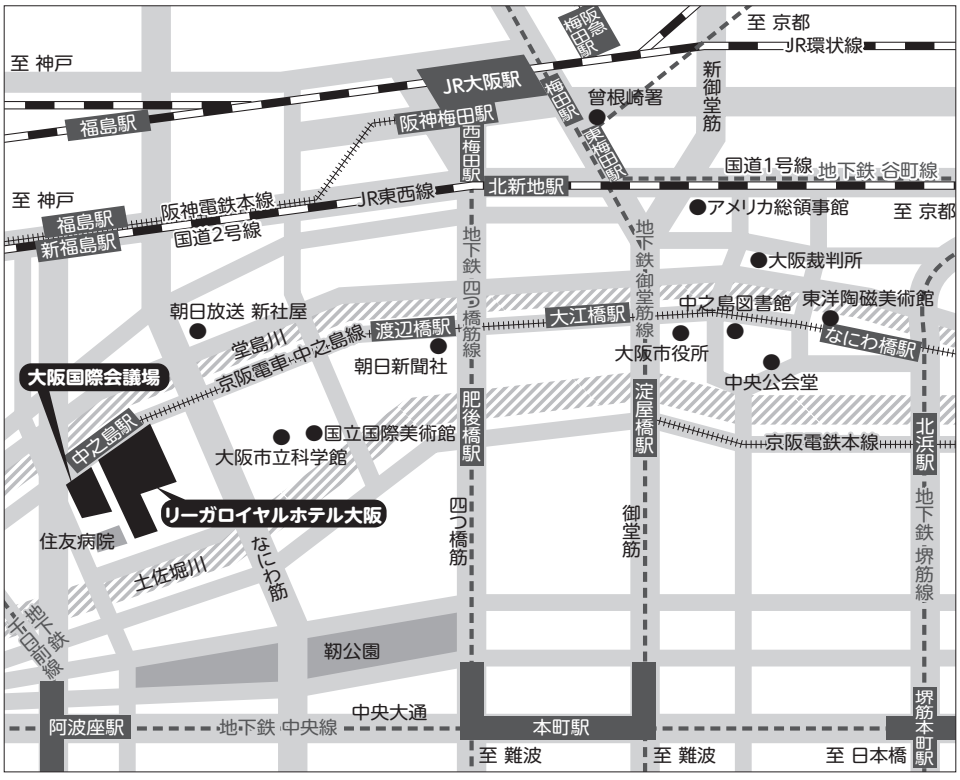
「鶴町四丁目」行にて、「堂島大橋」停留所下車すぐ(大阪市バス黄色1番のりば55系統)

②シャトルバス(運賃：無料)「リーガロイヤルホテル大阪」が運行するシャトルバスをご利用いただけます。

◆運行時間◆　7:45～10:00(15分間隔)、10:00～21:00(6分間隔)、21:00～22:15(15分間隔)

※座席、運行本数には限りがございます。お待ちいただく場合もございますので、ご了承ください。

※年次集会開始前、終了後は大変混雑が予想されますので、公共交通機関も合わせてご利用ください。



事前参加登録・懇親会のご案内

事前参加登録期間：2014年4月15日(火)～7月15日(火)

●年次集会参加費

参　加　区　分		申込記号	事前参加登録	当日参加	懇親会会費
医師・歯科医師 一般	会員	A	13,000円	15,000円	5,000円
	非会員	B	16,000円	18,000円	5,000円
コメディカル 初期研修医	会員	C	7,000円	9,000円	5,000円
	非会員	D	8,000円	10,000円	5,000円
医学部生・看護学生		E	2,000円	2,000円	5,000円

「コメディカル」とは、医療機関で働く医師以外の全ての職種を指します。
「医学部生・看護学生」の方は、総合受付にて学生証を提示してください。提示のない場合は「一般」の区分になります。
看護学生であっても、医療機関で勤務しているスタッフは「コメディカル」の区分になります。
その他の医療系専門学校生徒などの割引料金設定はありません。
事前参加登録終了後は、当日登録のみとさせていただきますのでご了承ください。

●お申込方法

第24回日本外来小児科学会年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からお申込ください。インターネットの接続環境などによりお申込ができない場合は、(株)日本旅行西日本MICE営業部　参加登録申込担当まで申込書をご請求いただき、FAXにてお申込ください。
予約確定後、ご登録いただいたメールアドレスあてに確認メールが自動送信されます。
確認メールが届かない場合はアドレスの入力間違い等が考えられます。
(株)日本旅行西日本MICE営業部　参加登録申込担当までお問合せください。

●懇親会について

参加者の懇親と情報交換の場として懇親会を開催いたします。懇親会だけのお申込はできませんのでご了承ください。
日　時：2014年8月30日(土)　19:00～20:30(予定)
会　場：リーガロイヤルホテル大阪3階　光琳の間

●お支払い方法について

お支払い期日：**2014年7月15日(火)**までにお支払いください。
1)確認メールまたは請求書等がお手元に届きましたら、予約内容・請求金額をご確認の上、期日までにお支払いください。期日までにお支払いがない場合、すべての事前登録は無効となりますのでくれぐれもご注意ください。お申込いただきましたら、できるだけ早い時期にお支払いいただきますようお願いいたします。
2)お支払い方法は、「クレジットカード」または「コンビニ決済」のいずれかにてお願いいたします。
ご希望のお支払い方法をお申込時にご選択ください。宿泊費とあわせてお支払いいただけます。
なお、コンビニ決済の場合、手数料はお申込者様にご負担していただきますのでよろしくお願いいたします。

●変更・取消について

変更及び取消のご連絡は、行き違いをさけるため、必ずFAX・E-mailなどの書面にてお願いいたします。
電話での対応はいたしかねますので、何卒ご了承ください。
7月15日までに書面でのお申出があれば、変更や取消に伴う参加登録費・懇親会費のご返金は可能ですが、手配及び準備の都合上、7月15日を過ぎた場合のご返金はいかなる理由であっても一切できませんのでご了承ください。

●年次集会事前参加登録の当日までの流れについて

期日までのお支払いが確認できましたら、8月上旬の予定で参加証とプログラム・抄録集をお送りいたします。
会場にてネームホルダーを用意しておりますので、会場内では首から提げてください。

●お申込及びお問合せ

(株)日本旅行　西日本MICE営業部内『第24回日本外来小児科学会年次集会』
参加登録申込担当：永井・中尾・吉田
〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4　大阪駅前第4ビル5階　FAX：06-6342-0232
E-mail：mice_gakkai@nta.co.jp
営業時間：平日9:45～17:45(土日祝休)

一般演題募集

募集期間：2014年4月15日(火)～5月31日(土)

一般演題の発表形式は原則として口演(PC形式)とポスター発表の両方といたします。口演のすべてを聞くことはできないため、ポスターを展示して口演内容をいつでも見ることができるようにしています。ただし、口演時間枠には限りがありますので、応募演題が多数の場合にはポスター発表のみをお願いする場合があります。また、ポスター発表のみを希望される場合には応募時にお申出ください。日常診療における取組みや現在進行中の研究に関する演題も大歓迎です。

ご発表いただいた一般演題の中から、参加者の投票により選出された「いいね大賞」を、また、会長・実行委員・学会誌編集委員ならびにリサーチ委員で構成する選考委員会により「優秀演題」を選出して、閉会式で表彰します。発表された方はもちろんですが、多くの方のご出席をお願いします。

発表形式

1.口演発表

- 口演は発表8分、質疑4分の予定です。
- 口演に使用する機器はPCプロジェクター1基とさせていただきます。
- 事務局が用意するパソコンOSはWindows7、発表用ソフトはマイクロソフト社製パワーポイント(PPT)2003-2013です。動画を使用する場合はWindows Media Player(Ver.10以上)で再生されるファイルをご使用になり、ご自身のノートパソコンをお持ちください。なお、音声についてもご利用いただけますので、当日PC受付にお申し出ください。
- Macintosh を使用される場合にはご自身のパソコンとACアダプターをお持ちになり、D-SUB15ピンの端子で接続できるようご準備ください。また、Windows 8 を使用される場合にもご自身のパソコンをお持ちください。
- ご発表のデータは相互のウイルス感染を防ぐため、できる限りCD-R(CD-R/W、DVDは不可)でお持ちください。USBメモリーでお持ちになる場合には、セキュリティ管理に十分な配慮をお願いいたします。いずれの場合も念のためにバックアップデータをご用意ください。
- 口演日時：8月30日(土)13:00～15:30

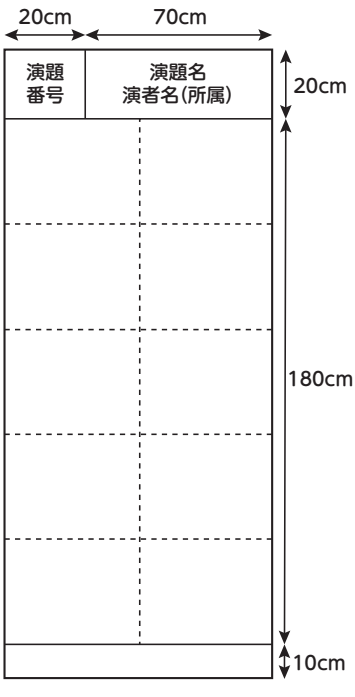
色覚異常者のためのバリアフリープレゼンテーションについて

- 学会参加者の中には色覚に異常を持った方がいらっしゃいます。スライド作成の時にご留意ください。具体的には、分かりやすい文字と背景の組み合わせを選び、特に黒バックに濃い赤字はお避けください。色は3色程度までに抑えてください。
- グラフは塗りつぶしパターンを変えるなど白黒印刷でも判断できる図表にしてください。

2.ポスター発表

●展示サイズ

掲示には縦210cm、横90cmのパネルを用意します。
上部縦20cm、横70cmには演題名、発表者名、所属を掲示してください。
発表内容は縦180cm、横90cm内に、要旨、目的、結果、考察、結語の順で収まるように掲示してください。
図、表を含めスペース：A3用紙10枚程度にお願いします。
演題番号表示とプッシュピンは事務局で用意いたします。



●ポスター展示

・展示場所：大阪国際会議場3階　イベントホールB・C・D
・貼　　付：8月30日(土)　8:00～ 9:00
・展示期間：8月30日(土)　9:00～18:00
　　8月31日(日)　9:00～14:00
・撤　　去：8月31日(日)　14:00～15:00
※8月31日(日)15:00以降になっても撤去されない場合は事務局で処分します。

●演題発表時における利益相反（COI）の開示について

第24回年次集会では平成23年2月に日本医学会が公表した「医学研究のCOIマネージメントに関するガイドライン」に則して、口演およびポスター発表における演題登録の際、利益相反の開示すべき項目の有無について申告いただくことになりました。ご理解の上、よろしくお願いいたします。

•申告すべきCOI状態がある場合（具体例）

第24回日本外来小児科学会年次集会
COI開示

筆頭演者氏名：○○○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

⑥委託研究・共同研究費：○○製薬
⑦奨学寄付金：○○製薬
⑧寄付講座所属：あり○○製薬

↑開示すべき内容がある項目のみ記載

①顧問　②株保有・利益　③特許使用料　④講演料　⑤原稿料　⑥委託研究・共同研究費
⑦奨学寄付金　⑧寄付講座所属　⑨贈答品などの報酬

●利益相反の開示すべき項目（日本小児科学会に準ずる）

•産学連携活動に係る受け入れ額が、1企業あたり年間200万円以上（所属機関からの間接経費が差し引かれる前の金額）の場合
•コンサルタント、指導、講演、給与としての個人収益が、1企業あたり年間100万円以上（税金や源泉徴収額を引く前の金額）の場合
•産学連携活動に係る個人収益（公開・未公開を問わず、当該企業の株式等の出資・取得・保有及び売却・譲渡、ストックオプションの権利譲受、もしくは、役員報酬、特許権使用料等）が1企業あたり年間100万円以上あった場合（但し、投資信託、もしくは、当該個人によって管理・制御できない多角的なファンドにおいて資金運用される場合を除く）
•上記1～3のいずれかに該当する企業に一親等の親族が現在勤務している場合
※個人収益の場合は、前年1月1日から12月31日まで、ただし、寄付金や企業からの受託等、産学連携活動に係る研究の場合は、前年4月1日から本年3月30日までの期間でも可。

●申込方法

•演者または共同演者のうち少なくとも1名は日本外来小児科学会の会員であることが必要です。
•一般演題は原則として年次集会公式ウェブサイト（http://sagpj24.umin.jp/）からのオンライン登録によって受付いたします。

●採否等の連絡

•演題の採否、発表形式、発表日時等につきましては実行委員会にご一任ください。
•採否につきましては6月末までにご連絡いたします。

一般演題担当：幸道直樹
E-mail：nkodo43@mbox.kyoto-inet.or.jp

ワークショップ(WS)参加登録のご案内

事前参加登録期間：2014年4月15日(火)～5月10日(土)

今回は8月30日(土) 9:00～11:50と8月31日(日) 9:00～11:50の2つの時間帯に開催いたします。参加者全員が意見を述べるワークショップ(以下WSと略します)本来の形を重視して、各参加人数は40名以内とします。同じ時間帯のWSに複数参加することは出来ません。

●申込方法

1. WS参加のお申込は年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からのみとさせていただきます。

2. WS参加登録サイト(http://sagpj24.umin.jp/WS.html)からお申込ください。同時に年次集会参加事前登録（http://sagpj24.umin.jp/jizen.html)もお願いいたします。(ハンズオンセミナーもこのサイトから事前登録してください。)
(今回のWS参加登録システムは、第22回年次集会事務局の山本 淳さん、佐藤順一さんはじめ横浜の実行委員会のご厚意により、第22回、23回と同様のWS参加システムを使用させていただきました。感謝申し上げます。)

3. WS参加登録サイトを開いた後は、まず連絡先のメールアドレスを登録します。登録予定のアドレスから（ws-sankakibou@future.or.tv)に空メール(タイトルも内容もないメール)を送ってください。5分ほどで返信メール* が届きます。メールの指示に従って、リンク先** を開いてお申込ください。WS申込は携帯電話のアドレスからも可能です。

(QRコード)

なお、年次集会公式ウェブサイトから、WSの登録状況をあらかじめ確認できますので参考にしてください。

* 返信メールが届かないときは、迷惑メール(スパムメール)フィルターによって、迷惑メール扱いのボックスに入っていることがあります。ウェブメール(Gmail、yahooなど)をご利用の方は特にご注意ください。

** リンク先のアドレスは長くなっていますので、自動桁折れ設定をしている方は設定を解除しアドレスがつながるようにしてください。

●参加申込WSの決定と通知

WS参加の諾否は第24回日本外来小児科学会年次集会事務局* から連絡いたします。**5月30日(金)**になっても本会事務局から連絡がない場合は、第24回日本外来小児科学会年次集会ワークショップ担当(gairaiws2014@gmail.com)までご連絡をお願いいたします。

* 事務局からの連絡は ws-office@future.or.tv から行います。このアドレスからのメールを拒否しないようにしてください。

●WS情報

1. WS番号

WS30　30日(土)のWSを表します。
WS31　31日(日)のWSを表します。

2. 進め方

研修型：講義や発表の内容を確認しながら討論し、学習内容をまとめて成果とします。
問題解決型：提示された問題について解決策を討論し、その結果を成果とします。

3. 定員

最大参加人数を示しています。一部のWSでは同一施設からの申込人数に制限があります。

4. 参加費

無料のWSと有料のWSがあります。有料のWSに参加される方は、参加費を当日WSリーダーにお支払いください。会計処理は各WSでお願いします。WSリーダーは予め参加者に対して費用の大まかな内訳を提示してください。

5. 当日参加の可否

当日参加「不可」のWSは参加が予め決定している方だけが参加できます。必ず事前登録をしてください。
当日参加「可」のWSは原則的に当日参加できますが、事前登録で定員に達している場合は当日参加ができないこともあります。できるだけ事前登録することをお勧めします。

6. 対象

参加者の職種に制限を設けているWSがあります。申込の際にはご注意ください。

7. アンケート

WS終了後、全てのWSのリーダー・サブリーダーならびに参加者を対象としたアンケートを実施いたします。

※ハンズオンセミナー(8月31日(日)午前)の応募方法

ハンズオンセミナーは、年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からのオンライン登録によって受付いたします。
このセミナーに参加するには事前登録が必要です。登録はワークショップの事前登録システムからお願いします。

WS担当：岡藤隆夫
E-mail：gairaiws2014@gmail.com
FAX：079-237-1198

ワークショップ（WS）一覧

8月30日（土） 9:00～11:50　年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

WS番号	テーマ	リーダー名	定　員
WS30-1	小児救急初療コース（Triage & Actionコース：T&Aコース）	茂木恒俊	30
WS30-2	外来小児科の“おもちゃ”を考えませんか？　Part2	森　庸祐	30
WS30-3	クリニック外来での経口食物負荷試験	福岡圭介	40
WS30-4	一緒に治していこう小児喘息（その2） ～患者教育で何をどのように伝えるのか～	上荷裕広	30
WS30-5	臍ヘルニアの治療について考えてみませんか（その2）	鈴江純史	40
WS30-6	あまえ療法（その10）　「あまえ」の世界を探る	澤田　敬	40
WS30-7	赤ちゃん・子どものアトピー治療ーステロイドは必要不可欠なものか？ ステロイドフリーの治療を考えよう	佐藤美津子	30
WS30-8	スタッフを輝かせるために ～チームワークとコミュニケーションを学ぶ体験学習やってみよう!	田草雄一	40
WS30-9	好感のもてる身だしなみを考えよう	鶴田恵子	30
WS30-10	ワクチン未接種者に、私たちは診療現場で何ができるでしょうか	石井美智代	30
WS30-11	「放射線の小児の健康への影響」について勉強しませんか？	吉田　均	40
WS30-12	ダウン症児の赤ちゃん体操をはじめてみませんか	中村　豊	20
WS30-13	手作りの小児科行動規範・倫理規範を作ってみよう	岡本　茂	20
WS30-14	子どもの足を考えるパート7 「もう一度、子どもたちの足や靴を考えよう」	松田　隆	40
WS30-15	人の振り見てわが振りなおせ	藤田　位	20
WS30-16	始めてみよう、小児漢方!「処方編」 step1　風邪、胃腸炎に漢方を使ってみる	森　蘭子	30
WS30-17	『事務スタッフに出来る工夫・事務スタッフの悩み（A）』 ～初参加の方のための体験ワークショップ	寺田ともゑ	40
WS30-18	エビデンスのある便秘治療を目指して	冨本和彦	20
WS30-19	フリー統計ソフト「R」初歩の初歩	卯月勝弥	36
WS30-20	事務が関わる予防接種の業務～その3 ～チェックシートを完成させよう	加藤篤子	30

8月31日(日) 9:00～11:50　年次集会公式ウェブサイトから参加登録をお願いします。

WS番号	テーマ	リーダー名	定　員
WS31-1	イチオシ絵本、児童書で「ビブリオバトル」してみよう!	北原文徳	20
WS31-2	医療者のためのNLPワークショップ	杉原　桂	40
WS31-3	模擬患者さんを相手に、禁煙の声掛けをしてみよう!	牟田広実	30
WS31-4	外来看護の検討(8) 子どもの予防接種教育をやってみよう(その3)	川口千鶴	40
WS31-5	服薬指導への取り組みその13 母親の薬に対する不満と患者満足度を高める工夫	高橋　肇	40
WS31-6	子どもの貧困を考える　part4	和田　浩	40
WS31-7	小学生・中学生に予防接種を知ってもらおう!!	落合　仁	30
WS31-8	外来小児科における臨床心理士の存在意義と展望	安東大起	20
WS31-9	電子カルテ検討会開発プロジェクトANNYYS - タブレット端末を利用しましょう	山口秀人	40
WS31-10	事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを作ってみよう～その2	島田　等	20
WS31-11	「予防接種の法令を理解する」-法の専門家を囲んで	松浦伸郎	30
WS31-12	小児救急電話相談の対応を学ぼう	福井聖子	40
WS31-13	WISCを体験してみよう(その4)	高田　修	40
WS31-14	多職種で取り組むプレパレーション ープレパレーション・ツールの作成ー	松本康弘	30
WS31-15	質的研究の実践的理解 ーこんな研究もあるんですー	藤岡　寛	30
WS31-16	小児科クリニックでの看護記録を考えてみませんか	朝賀智恵子	30
WS31-17	始めてみよう、小児漢方!「飲ませ方編」	坂崎弘美	30
WS31-18	遊びのちから　ホスピタルプレイワークショップ	岸本範子	20
WS31-19	学校医は学校へ行こう!シーズン2	岩田祥吾	40
WS31-20	『事務スタッフに出来る工夫・事務スタッフの悩み(B)』 ～初参加の方のための体験ワークショップ	加藤篤子	30

8月30日(土)〈1〉

WS30-1

小児救急初療コース (Triage & Actionコース：T&Aコース)

【リーダー】
茂木恒俊(京都大学 医学教育推進センター)
【サブリーダー】
土肥直樹(相模原市国民健康保険内郷診療所 所長)
児玉和彦(こだま小児科、和歌山中央医療生協 和歌山生協病院)

このワークショップでは、見た目や全身状態から緊急性や重症度が高い患児をトリアージし、適切な処置を施しながら医師に相談・連絡できる能力を身につけることを目標としております。また同時に、帰宅可能な場合に家族に対してどのようなことに気をつけて自宅で様子を診るのかなど、適切なアドバイスができることも学習します。コース目標を達成するために、講義とロールプレイを用いて、座学だけではなく実際に“動きながら考える”という事を中心にワークショップがすすんでいきます。また、ロールプレイは6名ほどの少人数のグループで進行致します。
今回のワークショップでは時間の都合上、全体の中からトリアージと熱性けいれんの講義とシナリオを取りあげて、実際にロールプレイを行いながら楽しく学習します。
グループの割振りを決める際に、職種や所属、勤務経験などに配慮させて頂くため、事前アンケートを行っておりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

進め方	研修型	対象
定員	30名	医師・看護師・薬剤師・医学生(小児科の病棟実習を終えていることが望ましい)
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

WS30-2

外来小児科の“おもちゃ”を考えませんか？ Part2

【リーダー】
森　庸祐(森医院こどもクリニック)
【サブリーダー】
福武典子(たはらクリニック)、早島禎幸(渡辺産婦人科)
館野里江子(森医院こどもクリニック)

昨年は「外来小児科のおもちゃにはどのような性質が必要か?」を検討しました。その結果?安全・安心で誤嚥がない、片づける習慣性、診察室内で患児に関われる、短時間で集中できる、繰り返し遊べるものと集中できるもの、自分で考えられる、こどもと仲良くなれる、対象年齢が広く耐久性がある、親子が一緒に遊べる、ごほうび、創造性がある、手を動かし遊べる、清潔保持、が望まれました。
今回のWSでは、これらの条件に合致したおもちゃを参加される皆さんに実際に探して来ていただき、外来小児科にとって良いおもちゃかどうかを討論します。またスペシャル・オブザーバーとして東京おもちゃ美術館館長の多田千尋氏にご参加いただきミニレクチャーも予定しています。昨年から引き続きの方も初めての方も大歓迎です。おもちゃを熱く語りましょう。参加者には事前アンケートをお願いします。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	1,000円	

WS30-3

クリニック外来での経口食物負荷試験

【リーダー】
福岡圭介(福岡小児科アレルギー科)
【サブリーダー】
谷村　聡(たにむら小児科)、岡空輝夫(岡空小児科医院)

必要最小限の除去食の実施および除去を解除していく過程で、経口食物負荷試験(以下、負荷試験と略す)は欠かせないが、全国の小児科基幹病院で負荷試験を実施しているのは215施設にとどまり、食物アレルギー患者数に比べ十分とはいえない。負荷試験未実施のまま完全除去を続けている家庭では、調理や代替食入手の手間や経済的負担だけではなく、微量なアレルゲンの混入でも重篤な症状が惹起されるのだろうか、など心理的負担も大きいことが知られている。負荷試験を実施し「つなぎ」に使用する程度の少量でも解除できれば、家族の心理的負担や、家庭の食のQOL改善に寄与できることを経験している。
昨年のWSではクリニック外来でも実施可能な負荷試験の方法と問題点などを、実施施設からの発表とその後のグループ討論をとおして検討し好評を博した。今回も「少しでも食べることにつながる負荷試験」の安全かつ具体的な方法を模索したい。

進め方	研修型	対象
定員	40名	医師、看護師、栄養士
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	200円	

WS30-4

一緒に治していこう小児喘息(その2) ～患者教育で何をどのように伝えるのか～

【リーダー】
上荷裕広(すずらん調剤薬局)
【サブリーダー】
齋藤栄二(あおば薬局)、仙敷義和(信栄調剤薬局)
西藤成雄(西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック)

小児気管支喘息治療・管理GL2012において「患者教育」の重要性が明記されました。多忙な外来診療において「患者教育」をコメディカルが担うことで医師の負担を軽減でき、さらに多職種のコメディカルとの連携や協働により、綿密な患者フォローが可能となります。まさに「一緒に治していこう小児喘息」です。昨年は1回目として「吸入支援」について、手技や問題解決方法を学びました。
今回は、保護者や患児のアドヒアランスを向上させるために喘息の病態や治療方針について「何をどのように伝えればよいのか」を考えてみたいと思います。日常診療で困っている点を出し合うと共に、模擬症例を用いてのスモールグループディスカッションを実施し、問題解決へのプロセスを学習したいと考えます。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	喘息診療に関して、基本的な学習をされている方
1施設からの定員	制限あり1名	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

8月30日(土)〈2〉

WS30-5

臍ヘルニアの治療について考えてみませんか(その2)

【リーダー】
鈴江純史(すずえこどもクリニック)
【サブリーダー】
長田伸夫(ひらおか公園小児科)、富本尚子(富本小児科内科)
橋本裕美(橋本こどもクリニック)

臍ヘルニアの治療については圧迫療法をするか、しないかに方針が分かれており、圧迫の方法についても種々の方法が採用されている。昨年のWSでは、参加各施設の実態と具体的な方法や悩みなどの情報交換を行い、今後検討すべき種々の問題点が認識された。今回は前回参加できなかった施設の意見や、前回のWSで採用した改善点の有効性などについて意見交換をしたい。また、全国の実態調査の結果をふまえて、今後の治療方針についてさらに検討を進めたい。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-6

あまえ療法(その10)　「あまえ」の世界を探る

【リーダー】
澤田　敬(認定NPO法人「カンガルーの会」)
【サブリーダー】
新津直樹(新津小児科)、小池茂之(小池医院)
藤田一郎(佐賀県医療センター好生館小児科)
松原　徹(城東こどもクリニック)

ややもすると日本の子育ては遅れており、西欧の子育てが進んでいるように思われがちである。しかし西欧の乳幼児精神保健学者達は日本のあまえ子育てに非常に興味を持っている。10年前より、毎年あまえのWSを開き、回を重ねるごとに参加人数が増加し、昨年はセミナーとして開催し、126名の出席者があり、「来年も継続してほしい」という意見が多かった。今迄はあまえ療法、虐待、発達障害、いじめ等臨床的な面からあまえを見てきた。今年は母親、看護師、保育士それぞれの現場でみられる「あまえ」について話しあい、「あまえとは何か」、「子どもはなぜあまえるのか」、「あまえることによる子どもと養育者の心の変化」、「日本の子育てと西欧の子育てとの違い」等、あまえの原点を考えてみたい。あまえはnarrativeの世界で、科学的なevidenceは無いと言われる。色々な立場の人の意見を交換し、evidenceを探究してゆきたい。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-7

赤ちゃん・子どものアトピー治療 ーステロイドは必要不可欠なものか? ステロイドフリーの治療を考えよう

【リーダー】
佐藤美津子(佐藤小児科)
【サブリーダー】
佐藤健二(阪南中央病院 皮膚科)、中田成慶(阪南中央病院 小児科)

アトピー性皮膚炎にはステロイド外用剤という考え方は、ガイドラインにも記載されていることもあり、一般的な考え方である。
しかし、診療の場で、ステロイドを使いたくないという患者たちがいるということを考えると、その患者たちの希望に沿ったステロイドフリーの治療を考えることも必要ではないだろうか。
症例を提示し、ステロイドを使わなくても治ることがあるということを見ていただき、診療所小児科、病院皮膚科、病院小児科からの意見等、様々な意見を持ち寄って、協力していく中でより良いステロイドフリーの治療を構築しましょう。

進め方	研修型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-8

スタッフを輝かせるために ～チームワークとコミュニケーションを学ぶ 体験学習やってみよう!

【リーダー】
田草雄一(ぽよぽよクリニック)
【サブリーダー】
高塚人志(鳥取大学医学部 総合医学教育センター 学部教育支援室)
秦　一裕(ぽよぽよクリニック)

協働とは、「共通の目標に向かい、複数の人が協力して働くこと」です。
チームワークという言葉にそのままあてはまります。
医療現場も「チーム医療」が大きな柱の一つです。
チームが目標を達成するためには、メンバー相互の「コミュニケーション」が欠かせません。
今回のWSでは、「リーダーに望ましい資質」というテーマで「気づきの体験学習」という方法でグループ演習を行います。
ねらいは、チームワークの中でリーダーの役割や必要とされる力に気づくことです。明日からの診療場面で活かせる「気づき」をお持ち帰りいただきます!

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	700円	

8月30日(土)〈3〉

WS30-9

好感のもてる身だしなみを考えよう

【リーダー】
鶴田恵子(川井小児科クリニック)
【サブリーダー】
岡本まゆ美(つつじが丘こどもクリニック)
西村美鈴(近藤小児科医院)、西川美緒(落合小児科医院)

クリニックのスタッフは職業柄、常に患者(保護者)に見られています。患者(保護者)に好感を持ってもらえる身だしなみや、メイクアップにはどのような工夫が必要でしょうか。
身だしなみについては、各クリニックで幾分考え方が違うと思われます。各クリニックのユニホーム、エプロンはどんなものを使用していますか?茶髪やピアスはどう考えますか?その他それぞれの考え方、姿勢、規則についてアンケートをとり、それを基にみんなで話し合いましょう。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	看護師、事務
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	1,000円	

WS30-10

ワクチン未接種者に、私たちは診療現場で何ができるでしょうか

【リーダー】
石井美智代(シロアムこどもクリニック)
【サブリーダー】
須貝雅彦・須貝京子・高橋美智子(おひさまクリニック)
池田美枝子・渡辺裕美(シロアムこどもクリニック)

日々の診療で、ワクチンの未接種を発見することはありませんか?忙しい業務の中で未接種者を探すのは容易ではありません。また、ワクチン勧奨後、実際の接種に結びつけることは難しい場合もあります。
これらのことを踏まえ、以下の三点について話し合いたいと思います。
1)未接種者をどのように探すか
2)未接種の理由(と理由の聞き出し方)
3)ワクチン接種をどう勧めるか
参加者には事前アンケートとして、現場の声やさまざまな情報を報告していただき、当日のWSで話し合い、深め、共有したいと思います。
ワクチン勧奨に関わっているコメディカルの皆さん、一緒に考えませんか?

進め方	研修型	対象
定員	30名	看護師、看護助手、事務 保育士、薬剤師、心理士 栄養士
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	500円	

WS30-11

「放射線の小児の健康への影響」について勉強しませんか?

【リーダー】
吉田　均(よしだ小児科クリニック)
【サブリーダー】
武藤一彦(むとう小児科医院)、金井英子(砺波総合病院)

患者さんから次のような質問をされたことはありませんか。「どの程度被ばくすると危険なのですか?」「将来の甲状腺がんや白血病が心配ですが‥」「避難したことは正しかったのですか?」「体から放射性セシウムを排出させる方法はありますか?」「医療被ばくは安全なのですか?」など。その時自信を持って答えることができましたか。WSでは放射線のリスクについて多くの論文をもとに基礎から勉強します。それをもとに医療者としてどのように対応すべきか、みんなで討論し、正確な情報を正しく伝えられるようになりたいと思います。なお、事前にネット討論と資料作成を行いますので、参加ご希望の方はパソコンとメールアドレスをご準備ください。

進め方	問題解決型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	1,000円	

WS30-12

ダウン症児の赤ちゃん体操をはじめてみませんか

【リーダー】
中村　豊(ゆたかこどもクリニック)
【サブリーダー】
宮井文美(ゆたかこどもクリニック)、福岡希代子(兵庫県立塚口病院)

クリニックをかかりつけにされているダウン症のお子さんも多いと思います。兵庫県立塚口病院では1975年からダウン症児の赤ちゃん体操を行ってきましたが、そこで行われている赤ちゃん体操をクリニックでも取り入れてみませんか。今回はダウン症児の発達特性を学び、お母さんの悩みに寄り添う体操の指導について考えてみます。

進め方	研修型	対象
定員	20名	医師、看護師、保育士 心理士、理学療法士 作業療法士、言語聴覚士 保健師、助産師
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

8月30日(土)〈4〉

WS30-13

手作りの小児科行動規範・倫理規範を作ってみよう

【リーダー】
岡本　茂(洛和会音羽病院)
【サブリーダー】
仙石多美(京都大学社会健康医学系健康情報学)

到達目標：
大学教授も開業医の先生方も同意できる　小児科行動規範・倫理綱領を作る。

趣旨：
情報のオープン化や、専門制度の変革の流れの中で国内外から小児科のアカウンタビリティが問われている。ところが現在日本小児科学会・日本外来小児科学会には学会行動規範・倫理綱領は存在しない。そこで、ワークショップで大学教授も開業医の先生方も同意できる小児科行動規範・倫理綱領(案)を作成し、さらにその活用の方向を検討する。

進め方	問題解決型	対象
定員	20名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-14

子どもの足を考えるパート7 「もう一度、子どもたちの足や靴を考えよう」

【リーダー】
松田　隆(まつだ小児科医院)
【サブリーダー】
内田俊彦(オーソティックスソサエティー)
永井恵子(NPO法人WISH)
吉村眞由美(早稲田大学 人間科学学術院 人間総合研究センター)

子どもの足の異常は、下肢のみならず全身の姿勢や集中力、運動発達など、身体の発育発達全体に影響を与える。昨年までの6回にわたって、現在の子どもの足や土踏まずの状況、小児期からの靴教育の重要性、さらに、「歩いて、自然や社会に触れ、五感を開き、体で学ぶ直接体験を通じて、子ども達の豊かな心、生きていく力を育てる」教育的活動としての「歩育」について情報提供してきた。しかし、まだ、子どもたちの足に関心を持つ小児医療関係者や保護者は少なく、現状の改善にはつながっていない。今回は、子どもたちの足や靴についての最新の情報を知っていただき、各地域で情報発信できるネットワークを作り、子どもを取り巻く人たちに子どもたちの足や靴についての正しい知識を広めていきたい。

関連して8月30日(土)15:00から1時間程度の予定で、ノルディックウォーク無料体験会があります。参加をご検討ください。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-15

人の振り見てわが振りなおせ

【リーダー】
藤田　位(藤田小児科医院)
【サブリーダー】
日野利治(日野小児科内科医院)
木下　洋(関西医科大学医学教育センター)

今回で8回目の開催です。
私たちは先輩の見様見まねで診察技法を学んできましたが、子どもや保護者にはどのように見えているのでしょうか?ひょっとしたら独善に陥っているかもしれない診察技術を今見直したいと思いませんか?
このWSでは自分の診察場面をビデオに撮って持参してきてもらい、WS参加者やOSCE指導医や患者代表の方と一緒に診察技術について評価していきます。
外来小児科医に求められる診察技術とは何かをみんなで検討していきましょう。
今回も日本外来小児科学会教育検討会と共催で行います。

進め方	研修型	対象
定員	20名	医師
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

WS30-16

始めてみよう、小児漢方!「処方編」 step1　風邪、胃腸炎に漢方を使ってみる

【リーダー】
森　蘭子(森こどもクリニック)
【サブリーダー】
坂崎弘美(さかざきこどもクリニック)
杉原　桂(多摩ガーデンクリニック)
木全かおり(かわしまファミリークリニック)

漢方薬を使ってみたいけれど、難しそう、本当に効くの?などという声を聞きます。このWSでは漢方薬を診療に取り入れてみようと考えている医師を対象に、小児に漢方薬を処方するためのノウハウを学びます。実際の診療場面を想定して、処方を選択するまでのプロセスを体験します。東洋医学の難しいことは後回しにして、まずはやってみましょう。そして少しずつ学んでいくと、難解だった東洋医学の理論も、少しずつ納得できるようになることでしょう。
今回は、日常診療で多く遭遇する風邪症状(咳、鼻汁、鼻閉)そして胃腸炎症状(嘔吐、下痢)について取り上げます。基本的な処方について学んだ後、実際の症例を基に、どの様に考え漢方薬を処方して行くのかを、ディスカッションしながら経験して行きます。参加後、すぐに漢方を使えるようになることを目標とします。

進め方	研修型	対象
定員	30名	医師
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

8月30日(土)〈5〉

WS30-17

『事務スタッフに出来る工夫・事務スタッフの悩み(A)』 ～初参加の方のための体験ワークショップ

【リーダー】
寺田ともゑ(シロアムこどもクリニック)
【サブリーダー】
塩野千春(ぽよぽよクリニック)、風呂本弥生(杁が池KIDSクリニック)

このワークショップ(以下WS)は、学会への参加経験の少ない事務スタッフを対象に、WSを体験するための会です。事務スタッフの工夫や事務スタッフの悩みという身近なテーマの中から当日テーマを選び、改善策や対策を考えてみましょう。小人数のグループ会議を中心に会を進め、参加者が負担無く発言できる、気軽な楽しい会にしたい思います。目標は、参加者に学会参加の充実感と楽しさを感じてもらい、今回の討議の中から、次なるWSのテーマやリーダーが生まれることです。

進め方	研修型	対象
定員	40名(事前予約20名＋当日参加20名)	事務
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	可	
参加費	無料	

WS30-18

エビデンスのある便秘治療を目指して

【リーダー】
冨本和彦(とみもと小児科クリニック)
【サブリーダー】
古川　裕(ふるかわ医院)

便秘を訴える児がまず最初に訪れるのは一般小児科外来です。便秘の悪循環のメカニズムからは受診早期から治療が開始されることが望ましいのですが、これまでは便秘の定義があいまいだったために、エビデンスに基づく食事・生活指導指針や治療指針も確立しておらず、それぞれの経験則による治療がなされてきました。しかし、Rome III criteria(2006)によってようやく便秘の定義が確立し、小児慢性機能性便秘症診療ガイドラインも策定され、第一線の小児科医でもエビデンスのある便秘治療が可能となりました。
今回、このWSにおいては
1. 便秘治療を題材にEBMの観点から論文の質を吟味、検討します。
2. 便秘に関するClinical questionから、その検証方法を考えます。
(このWSは診療ガイドライン検討会とリサーチ委員会の共催です。)

進め方	問題解決型	対象
定員	20名	医師、医学部生
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS30-19

フリー統計ソフト「R」初歩の初歩

【リーダー】
卯月勝弥(シロアムこどもクリニック)
【サブリーダー】
斉藤　匡(国保多古中央病院小児科)

統計ソフト「R」は、無料で使用でき、出力結果も多彩で、我々のような零細な者がデータ処理をするには有用と思われます。1990年代から主に理学、工学系で使われ、世界中の利用者による改良、関連拡張プログラムによって進化を続けています。近年は文字データを解析するテキストマイニング、臨床研究のデータ分析などにも応用され、医学生の教育場面でも登場しているようです。
WSでは
①「R」についての基本的な知識の講義
②「R」のダウンロード・インストール演習
③外来小児科で遭遇しそうな研究データの解析演習
を予定しています。講義と助言は情報学系の先生にお願いしてあります。

進め方	研修型	対象
定員	36名	医師、医学部生
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	2,000円	

WS30-20

事務が関わる予防接種の業務～その3 ～チェックシートを完成させよう

【リーダー】
加藤篤子(どんぐりこどもクリニック)
【サブリーダー】
島田　等(しまだ小児科)

このワークショップ(以下WS)は、数回のシリーズで事務スタッフにできる、より安全な予防接種の取り組みと予防接種の広報の二つを目的とし、その目的を実現するための共通のマニュアルを作ることを最終目標としました。3回目の今回で最終回とします。最終回の今回は、昨年のWSで各グループが作成したチェックシートを参加者の皆さんで検討し、完成させることが目標です。完成したチェックシートは、「じむのわねっと」でマニュアルとして保管し、各医療機関の求めに応じ提供し、使用することとします。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	事務
1施設からの定員	制限あり2名	
当日参加	不可	
参加費	500円	

8月31日(日)〈1〉

WS31-1

イチオシ絵本、児童書で「ビブリオバトル」してみよう!

【リーダー】
北原文徳(北原こどもクリニック)
【サブリーダー】
住谷朋人(住谷小児科医院)

絵本のWSに長年関わってきて、WSとしてもっと面白い試みはできないものかと考えていました。
最近「ビブリオバトル」という新たな書評合戦を体験したのですが、これが予想外に面白かった。
「ビブリオバトル」は、京都大学にいらした谷口忠大先生が考案したもので、1回戦5人の参加者が、持ち時間5分で「オススメの本」を聴衆にプレゼンします。
ただし、レジュメやパワーポイントの使用は不可。プレゼン終了後に2分間の質問タイムがあります。
最後に、聴衆が一番読んでみたくなった本(チャンプ本)を挙手によって決定します。
今回は、子供に関する本(絵本・児童文学・育児書など)に限定し、この本をぜひ読んで欲しい!という発表者の熱いメッセージを皆で共有したいと考えています。ぜひご参加ください。

進め方	研修型	対象
定員	20名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS31-2

医療者のためのNLPワークショップ

【リーダー】
杉原　桂(多摩ガーデンクリニック)
【サブリーダー】
上田一博(みちがみ病院小児科)
高橋真弓(医療法人あすか 高橋内科小児科)

医療者が直面する課題には2種類あります。
一つは「技術的な課題」です。これは対象を分析し、技術で解決する課題です。具体的には財務、分析、手術など。これらはモノを対象とする課題です。もう一つは「適応を要する課題」です。対象を分析しても根本的な原因解決には至りません。観察する側とされる側の分離が不可能な課題だからです。具体的には、子育て、人間関係、医療面接など。これらはヒトを対象とする課題です。多くの医療人は教育上「技術的な課題」の解決を優先してきたばかりに、患者やスタッフにまで技術的な課題解決法をあてはめる場面が少なくありません。このWSでは神経言語プログラミングという技法を通して、「適応を要する課題」の学習を促進します。この技法は1970年代に、ゲシュタルト療法・家族療法・催眠療法の分析を通じて構築された認知モデルです。構造化モデルはコミュニケーションの理解に有用な概念です。過去に同名WSを開催しておりますが、内容は毎回参加者の構成に応じ変更しています。皆様が心を癒し、心を開き、心を結ぶ取組みを体験されることでより円滑な職場の人間関係構築の一助となるようなWSです。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

WS31-3

模擬患者さんを相手に、禁煙の声掛けをしてみよう!

【リーダー】
牟田広実(飯塚市立病院)
【サブリーダー】
野田　隆(のだ小児科医院)、高橋裕子(奈良女子大学)
伊藤裕子(伊藤内科医院)、三浦秀史(禁煙マラソン)

本WSは2008年から継続して開催しており、今回も元喫煙者で現在は禁煙支援を継続的に行っている方々に模擬患者さんをお願いしており、禁煙支援の経験豊かなサブリーダーがファシリテーターとして効果的な学習を支援します。これまでのWSでは、参加者から「完成度の高いワークで、喫煙者の気持ちを理解しながら禁煙を勧めるノウハウを着実に身につけることができた。」などの声を頂いており、また元喫煙者である模擬患者さんから生の声を聞くことも明日からの禁煙支援にきっと役立つことと思います。禁煙支援は初めてという方から、もっとブラッシュアップしたいという方まで、幅広い参加をお待ちしております。本WSはタバコ問題検討会が主催します。

進め方	研修型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

WS31-4

外来看護の検討(8)
子どもの予防接種教育をやってみよう(その3)

【リーダー】
川口千鶴(順天堂大学 保健看護学部)
【サブリーダー】
及川郁子(聖路加国際大学)、山本美佐子(四日市看護医療大学)

これまで3年間にわたり、予防接種で外来を訪れる子どもたちのために、予防接種の嫌な体験が少しでも前向きに、自分の体や健康に興味を持つきっかけとなるような看護師のかかわり、すなわち予防接種場面における子どもへの健康教育について研究してきました。本学会のワークショップでも、昨年、一昨年とみなさまのご協力を得てプログラム・ガイドラインの検討を重ねてきました。
今回は、完成した3つのプログラム・ガイドライン(2〜3歳用、4〜6歳の幼児と小学1年生用、小学2〜6年生用)をご紹介するとともに、これらの活用方法や普及方法について検討したいと思います。このため、今回参加の方々には、事前に1(〜3)種類のプログラムを実際に行っていただきます。そしてその体験を踏まえてワークショップにご参加いただきます。プログラム実施のための資料や物品などは、エントリーの後、ご希望のプログラムをお伺いしてお届けいたします。

進め方	問題解決型	対象
定員	40名	看護師
1施設からの定員	制限あり2名	
当日参加	不可	
参加費	無料	

8月31日(日)〈2〉

WS31-5

服薬指導への取り組みその13
母親の薬に対する不満と患者満足度を高める工夫

【リーダー】
高橋　肇(はじめこどもクリニック)
【サブリーダー】
高橋めぐみ(はじめこどもクリニック)、長田ゆかり(まなみ薬局)

今まで服薬指導に方法論だけでなく、データや患児・母親の意見や要望を取り入れるように努めてまいりました。今回は、(患児や母親の)満足度を高める工夫をテーマとしました。母親アンケートを行って、子どもの薬に対する不満に思っていることのデータを収集し、参加医療機関にも満足度を上げる工夫などの事前アンケートを行う予定です。
複数回の開催になっていますが、大きな成果を求めるWSではなく、細かな成果や工夫の積み重ねです。一昨年は副作用やミスを避ける工夫、昨年は失敗例から学ぶをテーマとしてまいりました。皆さんの参加をお待ちしています。

進め方	問題解決型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS31-6

子どもの貧困を考える　part4

【リーダー】
和田　浩(健和会病院)
【サブリーダー】
武内　一(佛教大学/耳原総合病院小児科)

前回までのWSで「小児医療現場でどうしたら貧困が見えるようになるか?」を考えてきました。今回は参加者の経験した事例について、どのようにしてそれに気づいたか、どのような援助ができるのかなどを考える事例検討を中心に行いたいと思います。また貧困問題についての最近の話題についてレクチュアを予定しています。(なお初めての方は初日に行われる和田のセミナー　知っておきたい　こどもを取り巻く社会問題「貧困とこどもたち　私たちにできることは」を聞いていただけるとより深まると思います。)

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

WS31-7

小学生・中学生に予防接種を知ってもらおう!!

【リーダー】
落合　仁(落合小児科医院/日本外来小児科学会 予防接種委員会)
【サブリーダー】
太田文夫(おおた小児科・循環器科)
乾　浩明(ミキハウス子育て総研)

日本でも近年許可されたワクチンが急激に増え、推進出来るワクチンが数の上では海外とのワクチンギャップは解消されつつあります。医療現場では生後2か月からのワクチンデビューが徐々に定着、診療所を訪れてくれる保護者の方も増えています。
日本外来小児科学会予防接種委員会では、(小学校・中学校の子どもたちに)予防接種の正しい知識を持つことができるように冊子の作成に取り組んでいます。現在、保護者にむけてのワクチンの啓発図書は作られていますが子どもたちへの啓発が十分とは言えません。このWSでは、次の日本を支える子どもたちにワクチンの必要性を知ってもらうためにみなさんにも冊子の作成に参加していただき、啓発行動に出たいと思います。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

WS31-8

外来小児科における臨床心理士の存在意義と展望

【リーダー】
安東大起(野間こどもクリニック)
【サブリーダー】
田所純子(もりもとこどもクリニック)
鬼木美穂・宗清愛子(福岡大学筑紫病院 小児科)
鈴木　絢・石澤美紀(野間こどもクリニック)

平成24年から、2回にわたり、外来小児科における臨床心理士の業務や役割について、参加者と協議してきた。不登校、心身症、発達障害などを対象に、面接、検査、他機関連携など、外来小児科における臨床心理士の業務は多岐に渡っている。また、地域の療育を支えているようなところすらある。しかしながら、臨床心理士の世界では、病床を有していない小児科での臨床心理士の活動は、むしろ少数派となっている。
そのため、参考となるような活動の例に触れることが少なく、個々がそれぞれの努力で臨床経験を積み上げてきているように思われる。
このWSでは、外来小児科で勤務する臨床心理士が、技術・情報の共有を図り、現在のそれぞれの職場での現在の課題を話し合うことで、明日の臨床がより良いものになることを目指している。さらに、これからの外来小児科クリニックで臨床心理士が果たせるであろう役割の展望について、検討することを目標とする。

進め方	問題解決型	対象
定員	20名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

8月31日(日)〈3〉

WS31-9

電子カルテ検討会開発プロジェクトANNYYS - タブレット端末を利用しましょう

【リーダー】
山口秀人(医療法人ひらまつ病院)
【サブリーダー】
田村有広(たむらこどもクリニック)

「外来小児科学会開発プロジェクトANNYYS」は誰でもどこでも誰にでも使えるような電子カルテを目指して開発しています。
昨年はORCAと連動するところを体験していただきました。また成長曲線の描画機能や予防接種歴の一覧表示機能は小児科の受付・看護師さんたちに好評でした。
今回はタブレット端末を使った診察前の問診入力や疾患説明機能を実演したいと思います。参加希望者はなるべくノートPCやタブレット端末をご持参ください。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

WS31-10

事務スタッフのオリエンテーション・プログラムを作ってみよう〜その2

【リーダー】
島田　等(しまだ小児科)
【サブリーダー】
風呂本弥生(杁が池KIDSクリニック)

昨年のこのワークショップ(以下WS)で、事務スタッフの新人教育のためのオリエンテーション・プログラムの骨組みとなるような到達度チェックリストを作りました。今回は、そのチェックリストをどのように活用したか、あるいはチェックリストを元にオリジナルのプログラムを作った、などの事例を発表してもらい、チェックリストそのものの内容とプログラムをどのように進めたらよいかを参加者で検討したいと思います。またその中で、子ども達の幸せのために事務スタッフにどんなことが出来るのか、可能性も探りたいと考えています。WSの結果をまとめてオリエンテーション・プログラム2014をプロダクトすることが目標です。

進め方	問題解決型	対象
定員	20名	事務
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	500円	

WS31-11

「予防接種の法令を理解する」-法の専門家を囲んで

【リーダー】
松浦伸郎(松浦医院)
【サブリーダー】
川島　崇(川島内科クリニック)、及川　馨(及川医院)

予防接種に関する法令とその解釈において、実際の現場での解釈が行政府の意向と大きくずれている場合が少なくない。私たちは予防接種法令や関連法の解釈が実際の運用で適切であるかどうか。また各ワクチンの接種間隔等の期間の解釈、接種ワクチンの接種年齢等や、同時接種についての法的問題など、日々多くの問題に直面している。行政との接触時に注意する点などを含め今後の予防接種行政への対応など日頃疑問に感じている法律的な事項について討議してみたい。今回は医師で弁護士でもある大磯義一郎先生を招き討議する予定である。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	医師
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	1,000円	

WS31-12

小児救急電話相談の対応を学ぼう

【リーダー】
福井聖子(大阪小児科医会)
【サブリーダー】
田原卓浩(たはらクリニック)
小迫恵子(山口県立大学看護栄養学部看護学科)

クリニックの電話は、単なる問い合わせや受診の相談など様々で、受診患者の保護者といっても、声だけの応対に戸惑うこともよくあります。電話は、かけ手主導性・匿名性・不確実性などの特徴があり、電話を介する会話は診療現場の会話と異なる配慮が必要です。
夜間の小児救急電話相談#8000では、問診ではなく傾聴、相談員ではなく保護者が判断し行動決定するために必要な情報提供などが求められ、大阪ではそのための研修を行っています。今回は診療時と電話相談の対応の違いを認識するため、ロールプレイを含めたグループワークを行います。
3年目となりますが、大阪#8000の対応を理解し、考え方や方法をクリニックに応用する目的でいっしょに考えましょう。過去の参加者からは「理解が深まった」「持ち帰って、受付の電話応対の方法を話し合った」などの感想が聞かれ好評でしたので、ぜひご参加ください。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	1,000円	

8月31日(日)〈4〉

WS31-13

WISCを体験してみよう(その4)

【リーダー】
高田　修(たかだこども医院)
【サブリーダー】
佐久間秀人(佐久間内科小児科医院)、多田香苗(愛育こどもクリニック)
佐藤秀明(ここねっと発達支援センター)

発達障害を持つ子どもたちは、その診断名だけでは括れない個性や特性を持っています。そのため、適切な支援をするためには、個々の多様性に基づき、その子が抱える困難さばかりではなく、良さの観点でも理解をする必要があります。
このワークショップでは、参加者がWISC検査簡易版を体験し、その上で、各々の特性を「よさ」の観点から正しく理解した上で良い支援に繋げるためにはどのように結果を捉えたら良いかを検討します。
昨年はロールプレイも行い、被験者が安心して見通しを持って支援を受けられるようにする伝え方を実習しました。
その後、サブリーダーの佐久間秀人さんが自院でWISC?を始めており、今回はその体験談も述べて頂きます。参加者が自信を持って有効な支援を提案できるために参考となる有意義なワークショップにします。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	3,000円	

WS31-14

多職種で取り組むプレパレーション
ー プレパレーション・ツールの作成　ー

【リーダー】
松本康弘(ワタナベ薬局上宮永店)
【サブリーダー】
木下博子(大分こども病院医療技術部薬局)
石井美智代(シロアムこどもクリニック)、稲垣美知代(いながき薬局)

医療現場における児への疾患・治療の心理的準備(プレパレーション)は医療に携わる者にとっては共通の課題である。前回のワークショップでは、医療に携わる様々な職種の方に参加してもらい、「採血」、「食事」および「内服」において、どの様な場面でプレパレーションを使えるか議論できました。今回のワークショップでは、前回の議論を踏まえ、分野も「採血」と「内服」に絞り、プレパレーション・ツールの作成を目標とします。保育士、医師、薬剤師、看護師、検査技師、栄養士、医療事務などが互いの専門性を持ち寄り、こどもにとっての最良のプレパレーション・ツールを作り上げていきたいと思います。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	無料	

WS31-15

質的研究の実践的理解
ーこんな研究もあるんですー

【リーダー】
藤岡　寛(つくば国際大学医療保健学部看護学科)
【サブリーダー】
齊藤　匡(国保多古中央病院)、涌水理恵(筑波大学)
西垣佳織(東京保健医療大学)、黒木春郎(外房こどもクリニック)

質的研究方法検討会が主催するWSです。昨年までは初学者の方に質的研究を理解していただくために主に量的研究と比較する形でWSやセミナーを開催してきました。今年は少し視点を変えて、質的研究のなかにも修正版グランデット・セオリーや事例研究、エスノグラフィーなどのバリエーションがあることをご紹介し、小児科外来診療やケアに関する具体例をとりあげながら、その記述の違いを体験していただくことを目的にWSを企画しました。質的研究にご興味のある方、とくに初学者の方を歓迎します。職種は問いません。

進め方	研修型	対象
定員	30名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

WS31-16

小児科クリニックでの看護記録を考えてみませんか

【リーダー】
朝賀智恵子(くまがいこどもクリニック)
【サブリーダー】
中村照美・竹内実沙(徳田こどもクリニック)

クリニックでは、看護師にとって継続して看ていきたい患者の情報や、説明や指導した内容を残す方法が確立されていないため、提供した看護がその場限りになりがちです。
個々の患者の情報を継続して記録し、看護師間で共有できる手段(看護記録)が確立されれば、子どもや保護者に対してより良い看護を提供でき、看護の質も向上すると考えます。
今回は、第一弾として、参加クリニックであらかじめ現段階での看護記録(みたいなもの)を作成し、自院である程度実践していただき、その内容と結果を持ち寄ってより良い看護記録のあり方を見つけるための土台ができることを目標にします。
すでに実践しておられるクリニックや、そうした看護記録の必要性を感じておられる看護師のご参加をお待ちしております。

進め方	問題解決型	対象
定員	30名	看護師
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	不可	
参加費	無料	

8月31日(日)〈5〉

WS31-17

始めてみよう、小児漢方!「飲ませ方編」

【リーダー】
坂崎弘美(さかざきこどもクリニック)
【サブリーダー】
森　蘭子(森こどもクリニック)
木全かおり(かわしまファミリークリニック)

漢方薬は小児科領域でも大活躍できるお薬です。ただ、漢方薬は苦くて子どもに飲めるはずがないと思われる方が多いのも事実です。しかし、実際は多くのお子さんが上手に漢方薬を飲むことができています。このWSでは、「小児への漢方薬の上手な服薬指導」を目標に、どうすれば飲みやすくなるか、実際に色々な種類の漢方薬を内服してもらいます。今回3回目ですが、過去2回のWSでは、混ぜるものによって美味しくなったり、飲みにくくなったりすることを経験しながら、参加者と小児漢方について色々なディスカッションができました。実際に、漢方薬を処方し「苦いけど、頑張って飲んでね」と言うだけでなく、具体的に飲みやすい方法をお話するとさらに服薬率が上がります。今回も、小児への服薬指導を学び、多くのお子さんが漢方薬を飲めるようになるきっかけになればと思います。

進め方	研修型	対象
定員	30名	医師、看護師、事務、薬剤師
1施設からの定員	制限あり2名	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	500円	

WS31-18

遊びのちから　ホスピタルプレイワークショップ

【リーダー】
岸本範子(医療法人あおぞら会ふじもとクリニック病児保育室こひつじ看護師)
【サブリーダー】
河本鈴代(大阪発達総合療育センター看護師HPS)
斎藤智子(こどものホスピス・プロジェクト保育士HPS)
木村　基(大阪発達総合療育センター作業療法士)

HPS(ホスピタルプレイスペシャリスト)の役割は、医療に関わるすべての子どもたちに遊びを提供し、遊びが持つ癒す力で子どもたちを応援します。プレイプログラムを作り、個別の遊びが必要な子どもを支えたり、治療をする子どもたちの兄弟支援も行います。様々な現場で子どもたちをケアする看護師、保育士、その他の職種が集まって、HPSの活動を知り、「今私たちにできること」、子ども中心の医療を一緒に考えてみませんか。処置中など、子どもの不安を取り除くための遊びに使うおもちゃも作ってみましょう。

進め方	問題解決型	対象
定員	20名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	空きがあれば可	
参加費	100円	

WS31-19

学校医は学校へ行こう!シーズン2

【リーダー】
岩田祥吾(南寿堂医院)
【サブリーダー】
谷村　聡(たにむら小児科)、岡　勝己(岡こどもクリニック)
田草雄一(ぽよぽよクリニック)

WS開催の趣旨
1. 園医・学校医(以下学校医)の資質向上、園・学校(以下学校)・行政等との交流の素晴らしさを趣旨とする。
2. そのためには、学校医が、学校現場に行くことが大切である。
3. 学校保健関係者、多職種との連携・協力・協働が鍵となる。
4. 何よりも誰よりも、学校で、子どもたちと楽しく過ごしましょうよ!

久しぶりに、「学校医は学校へ行こう!」のWSを開催します。
まずは、学校医活動・学校保健活動・関連活動の、工夫や交流の話題を集め、意見交換をしてみたいと思います。したがいまして、医師だけでなく、看護職・医学生を含めた医療関係者、養護教諭・校長先生をはじめとする学校保健関係者、保護者の皆さま、教育委員会・保健所・保健センターなど行政、さらに教育機関の方々等、興味があるすべての方々のご参加を期待しております。
ホップ・ステップ・ジャンプ、と3年計画で展開したいと思いますので、ぜひ気軽に参加してみてください。

進め方	研修型	対象
定員	40名	制限なし
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	可	
参加費	無料	

WS31-20

『事務スタッフに出来る工夫・事務スタッフの悩み(B)』〜初参加の方のための体験ワークショップ

【リーダー】
加藤篤子(どんぐりこどもクリニック)
【サブリーダー】
萩野里美(崎山小児科)

このワークショップ(以下WS)は、学会への参加経験の少ない事務スタッフを対象に、WSを体験するための会です。事務スタッフの工夫や事務スタッフの悩みという身近なテーマの中から当日テーマを選び、改善策や対策を考えてみましょう。少人数のグループ会議を中心に会を進め、参加者が負担無く発言できる、気軽な楽しい会にしたいと思います。目標は、参加者に学会参加の充実感と楽しさを感じてもらい、今回の討議の中から、次なるWSのテーマやリーダーが生まれることです。

進め方	研修型	対象
定員	30名(事前予約20名＋当日参加10名)	事務
1施設からの定員	制限なし	
当日参加	可	
参加費	無料	

「熱血リレー発表会～今、私がしていること」発表者募集

募集期間：2014年4月15日(火)～5月31日(土)

熱血リレー発表会とは

本年次集会のテーマ「子どもたちの幸せを目指して　－今、私にできること－」を受けて、参加者の皆様が今までに実践してこられた取り組みを、全国から集まった参加者に向け、ステージで発表していただくというプログラムです。
発表の内容は、診療所内での工夫、子育て支援に関すること、地域コミュニティでの活動、社会的な活動など、外来小児科に関係することなら何でも構いません。出生前、周産期、乳幼児、小児、思春期以降など、子どもの成育のどのステージが対象でも結構です。
応募資格は年次集会参加者ということだけです。医師だけでなく、コメディカルスタッフや患者家族の会の方々も。お一人で複数の応募も歓迎です。ふるってご応募ください。

開催日時は、年次集会2日目の8月31日(日)13:00から15:00です。

●発表の形式

ステージでの口演発表です。お一人5分以内で、次々とリレー形式で発表していただきます。「生の声で伝える」ことを大切にしたいと思いますので、スライド投影は数枚以内とさせてください。たとえば、発表者を紹介するもの(診療所外観やスタッフ集合写真など)と活動内容のイメージを伝えるものなど、最少限でお願いします。

●応募方法

年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からオンラインで応募してください。インターネットでのご応募ができない場合は、E-mailまたはFAXにて下記担当者までお問い合わせください。折り返し応募用紙をお送りします。

●採否等の連絡

応募者多数の場合、すべての方に発表していただくことができませんが、その採否は実行委員会にご一任ください。

採否の結果は6月末までにご連絡いたします。

熱血リレー発表会担当：橋本裕美
E-mail：hiromi.hash@gmail.com
Fax：072-631-8989

セミナーのご案内

少人数参加型のワークショップに対して、先輩の経験談を聞き、最新の知見を学ぶのがセミナーです。

日本外来小児科学会員を中心に関係する方々にも入っていただき、ひとつのテーマをいろいろな角度から話していただきます。年次集会から帰った後に「やってみよう」と思える企画をそろえました。ご期待ください。

セミナー　クリニックで研究をしてみよう　そして発表しよう

8月30日(土)　9:30〜11:30　リサーチ委員会・学会誌編集委員会　共催

	演　者	内　容
はじめての臨床研究 リサーチクエスチョンをつくってみよう	三品浩基 (神戸常盤大学)	日常診療はわからないことだらけでちょっとした疑問を調べてみても？？がいっぱいです。大病院ではできない研究の種をみつけて新しいエビデンスを作っていきませんか？その研究を発表することで、仲間ができ、知識が共有でき、ひいては自分の患者さんだけでなく、多くの患者さんにより良いケアができるようになります。このセミナーでは初心者でもわかりやすく、研究や発表のツボを学ぶことができます。
コメディカルのための学会発表入門	中村好一 (自治医科大学)	

セミナー　クリニックで対応する発達障害　外来で困りませんか　児への対応

8月30日(土)　9:00〜11:50

	演　者	内　容
発達障害児の診療　医療のバリアフリー	大屋　滋 (千葉県自閉症協会 旭中央病院)	クリニックに発達障害のお子さんがいらっしゃったときに対応に困られたことはありませんか?また私たちは子どもや家族の方にどのような支援が可能でしょうか?このセミナーではコメディカルの立場から対応法や支援のあり方を考えます。
気になる子どもたちに出会ったら どうしますか?	安田美香 (児童発達支援センターしおん)	
外来小児科で働く臨床心理士は どんな支援ができるのか	安東大起 (野間こどもクリニック)	
小児科受診の際に思うこと 関係者の方々へのお願い	永山早世 (一般社団法人無限)	

セミナー　在宅医療を始めよう　大阪のチャレンジ

8月30日(土)　9:00〜11:50

	演　者	内　容
【Opening Remarks】 地域の子どもは地域で診る 〜期待に応えるために〜	春本常雄 (生協こども診療所／ 大阪小児科医会)	このセミナーでは、初めに大阪小児科医会が昨年開始した「在宅かかりつけ医紹介事業」を紹介します。次いでその事業の紹介で初めて訪問診療に行った小児科開業医の経験談をお聞きし、更に24時間対応の在宅専門クリニックをたった一人で立ち上げた元NICU医には初心者が在宅に取り組むコツをお話しいただきます。最後に突然の悲劇により寝たきりとなった愛娘を2年弱の在宅療養の末に自宅で看取られた経験から、在宅医療へ今の思いをお母さんからお聞きするという盛り沢山な内容です。 初めと終わりの座長のお話も必聴。早速明日から子どもの訪問診療に行きたくなること間違いなしです。在宅医療に関心のある方、特に、関心はあるものの未だ一歩を踏み出せていない方のご参加をお待ちします。
①在宅小児かかりつけ医紹介事業 〜大阪小児科医会のチャレンジ〜	藤井雅世 (藤井こどもクリニック／ 大阪小児科医会)	
②初めての在宅医療 〜在宅素人医のチャレンジ〜	房岡　徹 (ふさおかこどもクリニック)	
③小児在宅医療のコツ 〜在宅専門クリニックから〜	南條浩輝 (かがやきクリニック)	
④我が娘を自宅で看取って 〜在宅医療に望むこと〜	藤井真希	
【Closing Remarks】 ショートステイ連絡協議会の立ち上げ 〜レスパイトへのチャレンジ〜	船戸正久 (大阪発達総合療育センター)	

セミナー　子どもの食　食を通して始める楽しい育児

8月30日(土)　9:30〜11:30

	演　者	内　容
「まだ、おっぱい飲んでいるの?」 母乳育児を長く続けるためのコツ	瀬尾智子 (緑の森こどもクリニック)	生まれて初めて口にする母乳から生涯にわたって考えなければならないのが食と栄養です。しかし、食の情報もインターネット上などにあふれ、どの情報を選べばよいのか迷うことも多いと思います。このセミナーではそれぞれの発育過程に合わせた食のお話をしていただきます。情報と知識を整理して、食を通して長く続けられる楽しい育児を始めましょう。
離乳期の食生活について	堤ちはる(相模女子大学)	
未来につながる食育を キッズキッチンのすすめ	坂本廣子 (サカモトキッチンスタジオ)	

セミナー　外来小児科医が発達障害児を診るということ

8月30日(土)　13:00〜15:15

	演　者	内　容
はじめに	中村　豊 (ゆたかこどもクリニック)	「うちの子は自閉症じゃないでしょうか?」と聞かれて戸惑ったことはありませんか。このセミナーでは、私たちが外来で発達障害児を診るうえで何が問題であるのかを明らかにし、その解決法を探ります。演者は地域のなかで工夫しながら発達障害児の診療を行っている方々です。専門医や他の専門機関との連携、クリニックでの対応法、知識の習得、時間や経費の問題などフリー討論も交えて考えていきましょう。
専門医の立場から小児科開業医に望むこと	村松陽子 (京都市児童福祉センター)	
わたしの取り組み　わたしの工夫	佃　宗紀(つくだクリニック)	
	宮崎雅仁 (小児科内科三好医院)	
	野間大路 (野間こどもクリニック)	

セミナー　クリニックのレベルアップのために　お母さん方の質問にいかに答えるか

8月30日(土)　13:00〜15:00

	演　者	内　容
咳・喘鳴の患者さんの外来診療 クリニックの看護師に期待すること	山本　淳 (星川小児クリニック)	病気のお子さんを抱えるお母さん方からは、家庭ではどう対処したらいいの?救急を受診するタイミングは?いつから当園・登校できるの? と質問ばかりが出てきます。ここではコメディカルの立場から、お母さん方の質問に答えるノウハウを考えます。
熱があるので心配です クリニックでの指導の実際	大江和子 (松下こどもクリニック)	
嘔吐下痢症 保護者とともに考えるホームケア	中村朱里 (くまがいこどもクリニック)	
インフルエンザの出席停止期間を 理解してもらうために	横内初枝(崎山小児科)	
保護者の聞きたいことを知る 電話の活用について	福井聖子 (大阪府小児救急電話相談 上本町事務所)	

セミナー　知っておきたい　子どもを取り巻く社会問題

8月30日(土)　16:00〜18:00

	演　者	内　容
貧困と子どもたち　私たちにできることは	和田　浩 (健和会病院)	子どもたちも社会問題と無縁ではありません。親の貧困はこどもたちの問題でもあります。虐待問題はますます幅広く水面下に広がっています。私たちはどのような対応が可能でしょうか。
専門職が連携して児童虐待を 早期発見・早期介入するために	松岡太郎 (豊中市保健所)	

セミナー　Common disease 外来小児科医の仕事

8月31日(日)　9:00〜11:50

	演　者	内　容
外来小児科における嘔吐・下痢の 診療と変せん ロタワクチンの効果とノロの台頭	南　武嗣 (みなみクリニック)	小児科外来を受診する患者の多くはcommon diseaseです。 しかし、我々小児科医はcommon diseaseについて大学で学ぶ機会はほとんどありませんでした。いまこそ一番大事な病気の勉強をしませんか。
こどもの慢性便秘 経験的治療からEBMへ	冨本和彦 (とみもと小児科クリニック)	
小児科外来における風邪(感冒)への対処	西村龍夫(にしむら小児科)	
子どもの発熱性疾患(カゼ)を追いかける	板垣　勉(山辺こどもクリニック)	

セミナー　見直しませんか　診察技法

8月31日(日)　9:00〜11:50

	演　者	内　容
OSCE(客観的診察能力試験)とは	木下　洋 (関西医科大学医学教育センター)	案外知っているようで知らないもの、できるようでできないものそれが診察技法です。他人の診察技法を学び、今一度自分の技能をアップさせませんか?
患者から見た好ましい 小児科医の診察技法	山口育子 (NPO法人医療ささえあい 人権センター)	
あすから役に立つ診察技法を みんなで考える	藤田　位 (藤田小児科)	
ビデオでみる研修医・学生教育の実際	森田　潤 (こどもクリニックもりた)	

セミナー **アレルギー診療レベルアップ　外来での指導法を学びなおす**

8月31日(日)　9:00～11:50

	演　者	内　容
楽しくなるスキンケア　指導のポイント	益子育代 (東京都立小児総合医療センター)	今では小児科・アレルギー科という看板が珍しくなくなりました。しかしながらアレルギー診療はこの数年でも進歩し、一般の外来でも専門的なコツを知ることで外来診療のスキルアップにつながります。総合的なアレルギー診療を行うために、今回各分野で活躍されている方たちから指導方法を勉強しましょう。
よりよい吸入支援を目指して	嶋津史恵 (大阪府立呼吸器アレルギーセンター)	
ダニアレルゲン量測定実習と 環境改善アドバイス	中臣昌弘 (文京区文京保健所)	
食物アレルギーの栄養食事指導の実際	榊原理恵 (NPOアレルギー支援ネットワーク/あいち小児保健医療総合センター)	

セミナー **予防接種は小児科診療の要である**

8月31日(日)　9:30～11:30

	演　者	内　容
保護者に寄り添った ワクチンスケジュールを立てる	室矢智美 (くまがいこどもクリニック)	ここ数年の予防接種の制度変更は小児科医の診療スタイルを激変させました。種類の増加にともない、同時接種も広まりました。一方で接種間隔や適応年齢は多様で、お母さんはもちろん医師・スタッフも悩まされます。いかに間違いなく、子どもたちも怖がらず、期間内の接種を済ませるかに焦点を当てたセミナーです。
注射で泣かせない工夫ABC	横井茂夫 (横井こどもクリニック)	
予防接種外来での事故予防	後藤幹生 (静岡県熱海保健所)	

セミナー **食物アレルギー　外来での対応**

8月31日(日)　13:00～15:00

	演　者	内　容
食物アレルギー診療における 考え方の変遷	井上徳浩 (国立病院機構大阪南医療センター)	食物アレルギーは今や大きな社会問題となり、一般診療における方向付けは大きな意味を持ちます。誰もが専門医にかかれるわけではないですが、外来診療でも行えるような正しい除去食の指導と負荷試験によって食物アレルギー診療は大きく変化します。外来診療における食物アレルギー対応をレベルアップするのに必要なセミナーを用意しました。
不必要な除去食導入(指導)を防ぐために	福岡圭介 (福岡小児科アレルギー科)	
外来で行う負荷試験　制限解除のために	田中泰樹 (小児科すこやかアレルギークリニック)	

シンポジウムのご案内

【シンポジウム 1】
「子どもたちの幸せを目指して　−私がおこなってきたこと−」

日　時：8月30日(土)　9:00〜11:00

午前のシンポジウム1は、「子どもたちの幸せを目指して　−私がおこなってきたこと−」と題しました。当日は、クリニックや地域において、今までから先進的な取り組みをおこなってきた会員に、その多彩な活動内容を紹介していただきます。

日常診療に関する研究の必要性とそこで明らかになった知見に基づいた啓発活動を橋本裕美さん(橋本こどもクリニック)。小児救急体制を維持・向上させるために、地域の基幹病院を小児科開業医が支援する活動を松下享さん(松下こどもクリニック)。子どもたちに関わる様々な職種の人たちを地域社会の中で繋いでいくコーディネーターとしての活動を蜂谷明子さん(蜂谷医院)。教育委員や園学校医など子どもの教育分野における活動を崎山弘さん(崎山小児科)。

外来小児科の活動は診察室の中での診療だけにとどまりません。子どもたちの幸せのためには、診療以外の場面での活動も必要です。診療以外の部分でも活躍している会員の活動を広く知っていただくことで、本年次集会の総合テーマをより具体的に捉えていただき、今後の自分自身の行動変容につなげていただくことを期待しています。

【シンポジウム 2】
「小児のプライマリ・ケアはどうあるべきか」

日　時：8月30日(土)　16:30〜18:30

会長講演に引き続いて開催される午後のシンポジウム2では、小児のプライマリ・ケアに焦点を絞り、そのあるべき姿を探っていきます。

当日は、日本小児科学会、日本小児科医会、日本プライマリ・ケア連合学会、そして、日本外来小児科学会など、小児プライマリ・ケアに関係する団体の関係者にシンポジストとしてご登壇いただきます。

小児のプライマリ・ケアとは何か、誰がどのように担うのか、診療の質の維持・向上のために必要なことは何か、責任ある体制を提供するために何をなすべきかなどを論点とし、当学会の活動の四本柱である、診療・教育・研究・アドボカシーの観点から議論を交わしていただく予定です。

すべての子どもたちの幸せのため、日本の小児のプライマリ・ケアの一層の充実を目指し、有意義で実効性のある、そして未来志向のシンポジウムとなるよう企画しています。本シンポジウムを通して小児のプライマリ・ケアについての認識が深まり、これからのあるべき姿がより明確となることを願っています。

ミニシンポジウムのご案内

子ども・家族と医療をつなぐ
ー 当事者から学ぼう、いのち輝く医療 ー

日　時：8月30日(土)　13:00～14:30

第24回日本外来小児科学会年次集会に参加される医療従事者のみなさんへ!

本年次集会で初めて「患者家族の会を中心としたミニシンポジウム」を企画しました。

患者会と支援団体は、毎年本年次集会でブースを構えて、参加者のみなさんとの交流を続けています。今年は、年次集会の中で9つの団体から、参加者のみなさんへのメッセージをお願いすることにしました。

後半の30分ほどは、各団体の代表にご登壇いただき、フロアのみなさんと疾患理解のためのQ&Aや医療に関わるみなさんへのお願いなどをやり取りしようと企画しています。

こうした新たな取り組みを通じて、医療従事者のみなさんと当事者のみなさんとの関係が近くなり、患者理解が深まることを期待しています。

ぜひ、患者会関係ブースに気軽にお立ち寄りいただき、声をかけてください。

一人でも多くのみなさんのご参加をお待ちしています。

●参加団体(順不同)

アラジーポット（アレルギーのある子どもの親の会）
胆道閉鎖症・乳幼児肝疾患 母の会 肝ったママ's
細菌性髄膜炎から子どもたちを守る会
児童虐待防止全国ネットワーク
知ろう小児医療守ろう子ども達の会
摂食・嚥下障害児親の会 つばめの会
先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」
風疹をなくそうの会「hand in hand」
ポリオの会

前夜セミナーのご案内

事前登録不要　無料　軽食付

年次集会の前日に講演会を開催します。今年は医師もコメディカルスタッフの方にも興味深いテーマの講演を準備しています。会員の方はもちろんのこと、会員以外の方でも自由に参加できます。事前登録は不要です。ぜひ金曜日の夜から会場にお越しください。

日　時：8月29日(金)19:00～21:00　(開場18:00)
会　場：大阪国際会議場12階　特別会議場、1202会議室

セミナー1　大阪国際会議場12階　特別会議場

講演（19:00～21:00)

「小児科外来診療で役立つ虫と皮膚炎の話」

講師：夏秋　優(兵庫医科大学皮膚科)

虫の中には皮膚に対する刺咬、吸血、あるいは皮膚との接触によって皮膚炎を引き起こすものが数多くあります。それらの虫の特徴や生態に関する知識があれば、適切な診断や対策、治療が可能となります。今回の講演では小児科外来で診察する機会の多い代表的な虫による皮膚炎と、その原因となる虫について紹介します。

セミナー2　　大阪国際会議場12階　1202号室

講演1（19:00～20:00)

「医療者が行う子ども目線のプレパレーション」

講師：松森直美(県立広島大学保健福祉学部看護学科)

子どもが医療処置や検査を受ける際に医療者が心理的準備あるいは倫理的な配慮を行いながら関わった実践項目を集約した小児看護ケアモデルの内容を紹介し、子どもと家族の尊厳を守りながらいかに医療や看護を行うかについて参加者の皆さんと考えたいと思います。

講演2（20:00～21:00)

「コメディカル主導型予防接種外来」

講師：時田美智代(時田げんきクリニック)

昨今の予防接種は変化が目まぐるしく、母子手帳のワクチン欄もつぎはぎだらけです。予防接種に振り回されている医師もいらっしゃるのではないでしょうか。今こそコメディカルならではのアイデアやチームワークが活かされる時です。皆さんもそれぞれのクリニックで予防接種プロジェクトチームを作ってみませんか?

※軽食は数に限りがありますので予めご了承ください。

ハンズオンセミナーのご案内

事前参加登録期間：2014年4月15日(火)～5月10日(土)

外傷と熱傷の湿潤療法

日　時：8月31日(日)　9:00～11:50(ワークショップと同じ時間帯となります)

演　者：岡田清春　(おかだ小児科医院)
　　共田義秀　(石山内科整形外科)
　　福田弥一郎 (福田診療所)
　　宮原　篤　(かるがもクリニック)

消毒薬やガーゼを使用しない湿潤療法は、従来の治療法に比べ、痛みが少なく傷痕も綺麗になることが、多くの小児科医に理解されつつあります。

しかし一方では、湿潤療法で治療した経験がない場合なかなか手を出しにくいとか、外傷は経験があるが熱傷は手を出しにくい、顔の傷は外科に送った、などという話を聞きます。また、湿潤療法が広がるにつれて発売される被覆材の種類も増え、どんな傷にどの被覆材をどの様に使ったら良いのか分からない、という声もよく聞きます。

このハンズオンセミナーでは、前半で、湿潤療法の原理と手技の実際、被覆材の種類とその使い分け、肥厚性瘢痕への対応、予後も含めた経過、外科にコンサルトすべき場合とタイミングなどを提示します。

後半は小グループに分かれて、メーカーから提供して頂いた被覆材を自由に使って、お互いの手や人形に対して部位別にその使い方を実習します。

実際に外傷や熱傷を治療される方、未経験だが一度触ってみたいと思う方の参加を歓迎いたします。

●応募方法

ハンズオンセミナーは、年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からのオンライン登録によって受付いたします。

このセミナーに参加するには事前登録が必要です。登録はワークショップの事前登録システムからお願いします。

※参加費は無料とさせていただいています。

パネル展示募集のご案内

募集期間：2014年4月15日(火)～6月30日(月)

●パネル展示の内容

1.「子どもたちの幸せを目指して　－今、私にできること－」

今回のテーマです。このテーマをイメージしていただいて、外来診療の場での様々な工夫、日頃感じていること、思っていること、訴えたいこと、実践していること、広く募集します。掲示スペースいっぱいにご紹介ください。

2. 院内報ネットワーク他の院内報(誌)の展示

各医療機関で発行している院内報をそのまま展示してください。

3. 医療保育ネットワーク等の展示

外来診療の場での、保育士他のみなさんのご活躍をご紹介ください。

●発表形式

・ポスター、写真、印刷物などは、実行委員会で用意する縦×横=210cm×90cmのパネルに貼付してください。
・本や診療の小道具、おもちゃなどの展示は、パネル前に幅180cm×奥行き45cm×高さ70cmの机を設置用意しますので、パネルと同じ90cm幅でお願いします(1卓の机を2者で共用とさせていただきます)。利用を希望される場合は、申込書にご記入ください。
・プッシュピンは事務局で用意します。

●展示場所と時間

展示場所：大阪国際会議場3階　イベントホールB・C・D
貼　　付：8月30日(土)　　8:00～ 9:00
展示期間：8月30日(土)　　9:00～18:00
　　8月31日(日)　　9:00～14:00
撤　　去：8月31日(日)　14:00～15:00
※8月31日(日)15:00以降になっても撤去されない場合は事務局で処分します。

●応募方法

パネル展示募集期間：2014年4月15日(火)～6月30日(月)
・パネル展示は原則として年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からのオンライン登録によって受付いたします。
・インターネットによる応募ができない場合には担当までご連絡ください。
・演者または共同演者のうち少なくとも1名は日本外来小児科学会の会員であることが必要です。
・ご発表の内容が企業の協力を得ていたり、共同研究に該当する場合には、応募の際にお申し出ください。

●採否等の連絡

・パネル展示の採否については実行委員会にご一任ください。
・応募数が規定数を超えたときはお断りすることもあります。
・展示物の貼付・撤去の時間・方法につきましては、展示決定通知の際に改めてご案内いたします(7月15日までにご案内する予定です)。
※展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、実行委員会では責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場合は各自でお願いします。

パネル展示担当：小林　謙
E-mail：koba58@quartz.ocn.ne.jp

患者家族の会・支援者の会展示のご案内

募集期間：2014年4月15日(火)～5月31日(土)

展示形式、参加に際してのお願いなど

1.ポスター・写真・印刷物などは、実行委員会で用意する縦210cm×横180cmのパネルに貼付してください。
2.会の紹介パンフ・書籍・カンパグッズなどは、展示パネル前に机を1卓用意しますので、ご利用ください。
3.カンパ及び署名集めは、会の各ブースでお願いします。資料配布などは、実行委員会に確認の上、通行等の妨げにならない範囲でお願いします。

●展示場所と時間

展示場所：大阪国際会議場10階 ホワイエ
搬　　入：8月29日(金)　15:00～17:00
展示期間：8月30日(土)　 9:00～18:00
　　8月31日(日)　 9:00～14:00
搬　　出：8月31日(日)　14:00～15:00
※8月31日(日) 15:00 以降になっても搬出されない場合は事務局で処分します。

●応募方法

患者家族の会・支援者の会展示募集期間：2014年4月15日(火)～5月31日(土)
患者家族の会、支援者の会展示は原則として年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からのオンライン登録によって受付いたします。
インターネットによる申込ができない場合はFAXにてお申込ください(06-6342-0214)。

第24回日本外来小児科学会年次集会 運営事務局
㈱日本旅行　西日本MICE営業部内
〒530-0001大阪市北区梅田1-11-4　大阪駅前第4ビル5階
担当：下村・中尾・吉田
FAX：06-6342-0214
営業時間：平日9:45～17:45(土日祝休)

●採否等の連絡

・応募が既定数を超えた場合はお断りすることがあります。
・採否は実行委員会にご一任ください。慎重に検討の上6月末までに採否と割当をご連絡いたします。

※展示期間中の展示物の損傷や紛失などに関して、実行委員会では責任を負いかねます。展示物の保管が必要な場合は各自でお願いいたします。

患者家族の会・支援者の会担当：武内　一
E-mail：takechanespid@gmail.com

託児室のご案内

申込期間：2014年4月15日(火)～8月19日(火)

会期中、託児室を開設します。ご利用をご希望の方は利用規約をお読みのうえ、必ず事前にお申込ください。

対　　象：生後6ヶ月～小学生まで
開設日時：8月30日(土)　8:30～18:00
　　8月31日(日)　8:30～16:00
料　　金：1名1日あたり(税込)　3,000円(両日とも)
　　※託児料金は事前にお支払いいただきます。
　　お支払い方法はお申込後にお知らせいたします。
場　　所：セキュリティ確保の為、お申込者のみにご案内いたします。
定　　員：両日とも35名
　　(当日申込はできません。定員になり次第締切らせていただきます。)
お 願 い：昼食・おやつ・飲みものは各自でご用意ください。

●申込期限
8月19日(火)17:30まで

●申込方法
年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)より、利用規約をお読みのうえ、申込書に必要事項を記入して下記までお申込ください。確認後、受領確認書をお送りいたします。

●申込先
E-mail：yoyaku@alpha-co.com　　FAX：03-5772-1224
サブジェクト(件名)は「第24回日本外来小児科学会年次集会　託児室予約」としてください。
※完全予約制となっておりますので、ご予約のない場合にはご利用いただけません。
※定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承ください。
※お支払い(ご入金)後の変更・キャンセルにつきましては返金できませんのでご注意ください。

●委託先(お問合せ)
(株)アルファコーポレーション　http://www.alpha-co.com
(ACSA：公益社団法人全国保育サービス協会正会員)
TEL：03-5772-1222　　担当：小滝(こたき)・佐藤

【個人情報の取り扱いについて】
保 護 管 理 者 ：(株)アルファコーポレーション管理部長
利 用 目 的 ：本サービスにおける保育サービスの提供及び緊急時連絡
提供及び委託 ：アルファコーポレーションと年次集会事務局以外の第三者への提供および委託はいたしません。
任　意　性 ：ご同意いただけなかった場合は、ご利用をお受けできないことがございます。

なお、不測の事故に対応するために、シッター会社が保険に加入しており、保険適用範囲で補償いたします。また年次集会及び事務局は、事故の責任は負わないことを申し添えます。

宿泊のご案内

申込期間：2014年4月15日(火)～7月31日(木)

宿泊ホテルの手配や予約等の業務は、㈱日本旅行西日本MICE営業部に委託しています。

●お申込・お支払い・予約の変更・取消について

・事前参加登録と同様、年次集会公式ウェブサイト(http://sagpj24.umin.jp/)からお申込ください。
・インターネットの接続環境などによりお申込ができない場合は、㈱日本旅行西日本MICE営業部 宿泊予約担当まで申込書をご請求いただき、FAXにてお申込ください。
・予約確定後、インターネット申込の場合は予約確認メールが届きます。FAX申込の方には請求書をお送りいたしますのでお手元に届き次第、予約内容を確認の上、お支払い期日までにお支払いください。
・お問合せについては、行き違いを避けるため、必ずFAX・E-mailなどの書面にてお願いいたします。
電話での対応は致しかねますので、何卒ご了承ください。
・ご予約の変更、取消は宿泊用ホームページから操作いただけます。変更・取消料金等を差し引いた金額を、後日返金させていただきます。
・お支払い期日：**2014年7月31日(木)**までにお支払いください。

●宿泊ホテルについて(1泊朝食付・サービス料・税金込、お一人様の料金)

・宿泊設定日：**2014年8月28日(木)・29日(金)・30日(土)・31日(日)**の4日間
・会期中周辺ホテルの混雑が予想されます。早目のお申込をお勧めいたします。
・先着順に受付いたします。満室の場合、申し訳ありませんが、空室のある他の施設をご利用ください。

●変更・取消料金

詳細は宿泊用ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

●お支払いについて

お支払い方法は、「クレジットカード」または「コンビニ決済」のいずれかにてお願いいたします。
ご希望のお支払い方法をお申込時にご選択ください。事前登録参加費とあわせてお支払いいただけます。
なお、コンビニ決済の場合、手数料はお申込者様にご負担していただきますのでよろしくお願いいたします。

●お申込及びお問合せ

(株)日本旅行　西日本MICE営業部内『第24回日本外来小児科学会年次集会』
宿泊申込担当：永井・中尾・吉田
〒530-0001　大阪市北区梅田1-11-4　大阪駅前第4ビル5階
FAX：06-6342-0232
E-mail：mice_gakkai@nta.co.jp
営業時間：平日9:45～17:45(土日祝休)

日本外来小児科学会への入会手続き

※年次集会会場での入会手続きはできません。

入会を希望される方は、入会申込書に所定の事項を記入した上で、学会事務局へお申込ください。役員会の承認を経て、入会決定を通知します。承認後、入会金と年会費を納入してください。以上の手続き全てが終了した時点で会員となります。

●入会手続き手順

1. 学会ホームページから入会申込書をダウンロードしてください。
   申込書は、当冊子や学会誌などにも添付してありますので、そのコピーでも結構です。
2.「申込書」の項目に記入し、学会事務局にお送りください。
3. 学会役員会(年4回開催)の入会審査で承認されますと、学会事務局から2週間以内に承認通知と入会金・年会費請求書をお送りいたします。
4. 入会金3,000円と当該年度の年会費を指定口座に納入してください。
   年会費は、診療所・病院開設者は15,000円、それ以外の方は10,000円です。
5. 入会手続き終了です。

<会員の推薦>

推薦文と推薦者署名は必須記載事項ではありません。

<入会金に関して>

入会に関しての諸経費としてお願いします。また、変更にも手数料がかかりますので(個々の会員には請求していませんが)、大学などより出向中の方は、出来れば固定した住所をご登録ください。

<役員会承認に関して>

入会には、役員会での承認が必要です。役員会は基本的には年4回(2月・5月・8月・11月頃)開催されています。

<年会費>

当学会の会計年度は、1月1日から12月31日までです。
11月頃に開催されます理事会で入会が承認された場合は、入会年度を御自身でお決めの上、ご入金ください。12月までに手続きが完了すれば、当該年度の会誌をお送りします。次年度からの会費納入の場合は、新年度の発行号からの送付となります。

●日本外来小児科学会・事務局　(入会事務取扱先)

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号　新宿ラムダックスビル
株式会社 春恒社　学会事業部内
TEL：03-5291-6231　FAX：03-5291-2176

（2013/7/25 版）

入 会 申 込 書

平成　　年　　月　　日

日本外来小児科学会　会長 殿

貴学会の目的に賛同し入会を申し込みます。

氏　　名（ふりがな）：　　1．男　　2．女　　昭和 平成　　年　　月　　日生

（自　署）

□勤 務 先：□　診療所・病院開設者　　名称（ふりがな）

□　上 記 以 外

【会員種別□にもチェック✓必ず記入して下さい】

市町村名にふりがなを

所 在 地〒□□□－□□□□　　都道府県　　区市郡

TEL：　　FAX：

E-mail；

市町村名にふりがなを

□自宅住所〒□□□－□□□□　　都道府県　　区市郡

TEL：　　FAX：

※勤務先、自宅のどちらかに郵便送付先として✓印を入れて下さい。

職　　種：　1．小児科医　　□専門医　　2．他科の医師　（専門：　　）

3．その他（具体的に　　）

※　小児科学会専門医の方は□に✓印をつけて下さい。

所属学会（医会）：　□日本小児科学会　　□日本小児保健協会　　□　日本小児科医会

□に✓印をつける　　□その他　（具体的に　　）

自 薦 文（入会して何をしたいかをお書き下さい）：

興味のある分野に✓印をつけてください　□診療　□教育　□研究　□社会活動　□その他（　　）

※以下（推薦文、推薦人）は、必須ではありません

推 薦 文：

ここに＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿氏を日本外来小児科学会会員に推薦致します。

平成　　年　　月　　日　**日本外来小児科学会会員**　　氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

MEMO

生物学的製剤基準
生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品注)
乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン「タケダ」

生物学的製剤基準
生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品注)
乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」

生物学的製剤基準　日本薬局方
生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品注)
乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」

生物学的製剤基準
生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品注)
乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン ジェービックV®

生物学的製剤基準　日本薬局方
生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品注)
インフルエンザHAワクチン「生研」

注)注意：医師等の処方により使用すること。

「効能効果」、「用法・用量」、「接種上の注意（接種不適当者）」等については、添付文書をご参照ください。

[資料請求先]
武田薬品工業株式会社　医薬営業本部
〒103-8668東京都中央区日本橋二丁目12番10号

ペプタイド系抗利尿ホルモン用剤
薬価基準収載
ミニリンメルト®OD錠
60μg/120μg/240μg
MinirinMelt® デスモプレシン酢酸塩水和物口腔内崩壊錠
劇薬・処方せん医薬品注)
注)注意―医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元[資料請求先]
フェリング・ファーマ 株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17

販売元[資料請求先]
協和発酵キリン株式会社
〒100-8185 東京都千代田区大手町 1-6-1

U/232AA/01/14/J
2014年1月作成

5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン
ウイルスワクチン類
薬価基準適用外
生物由来製品 | 劇薬 | 処方せん医薬品（注意－医師等の処方せんにより使用すること）

ロタテック®内用液

RotaTeq® 生物学的製剤基準

ウイルスワクチン類
薬価基準収載
劇薬 | 処方せん医薬品：注意－医師等の処方せんにより使用すること

ヘプタバックス®-Ⅱ

Heptavax®Ⅱ
生物学的製剤基準：
組換え沈降B型肝炎ワクチン（酵母由来）

健保等一部限定適用

本剤のご使用にあたり、【接種不適当者】、【効能・効果】、【用法・用量】、【用法・用量に関連する接種上の注意】、【接種上の注意】等詳細は、製品添付文書をご参照ください。

MSD
製造販売元［資料請求先］
MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/

RTQ13AD041-1018

SANOFI PASTEUR

不活化ポリオワクチン（ソークワクチン） ウイルスワクチン類

イモバックスポリオ®皮下注

生物由来製品　IMOVAX POLIO® subcutaneous　●薬価基準適用外

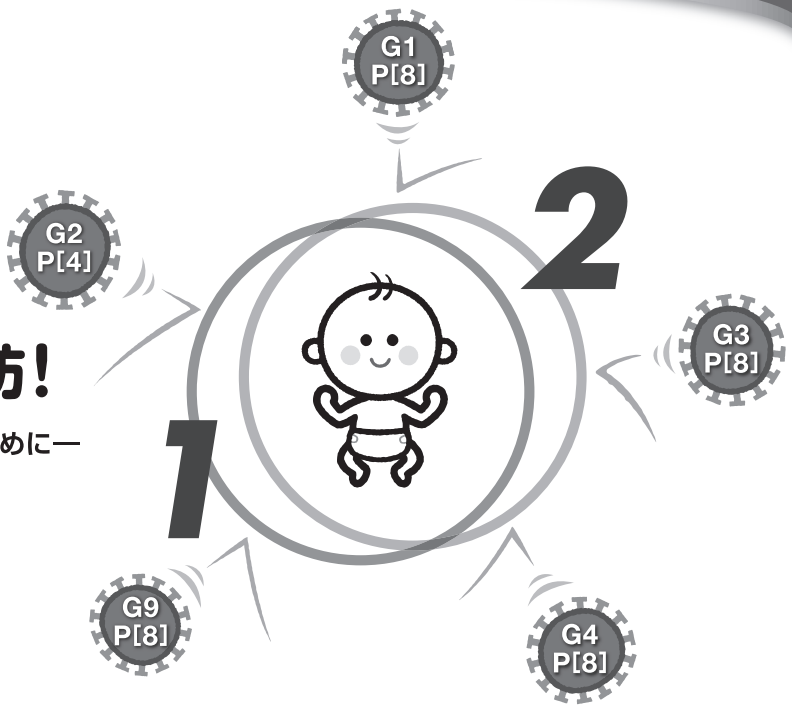
劇薬　処方せん医薬品注)　注）注意―医師等の処方せんにより使用すること　生物学的製剤基準

★「効能・効果」「用法・用量」「接種上の注意」等については製品添付文書をご覧ください。
★資料は当社医薬情報担当者にご請求ください。

詳しくは製品情報サイトをご覧ください。 e-MR
e-MR 検索

2013年2月作成　JP.IVX.13.03.01（IVX021C）

製造販売：サノフィ株式会社
〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号



2回接種で早く予防！

―ロタウイルス胃腸炎から赤ちゃんを守るために―

【接種不適当者】（予防接種を受けることが適当でない者）
被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはならない。
（1）明らかな発熱を呈している者
（2）重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
（3）本剤の接種後に本剤又は本剤の成分によって過敏症を呈したことがある者
（4）腸重積症の発症を高める可能性のある未治療の先天性消化管障害（メッケル憩室等）を有する者
（5）腸重積の既往のある者
（6）重症複合型免疫不全（SCID）を有する者
（7）上記に掲げる者のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

効能・効果

ロタウイルスによる胃腸炎の予防

効能・効果に関連する接種上の注意
（1）本剤はロタウイルスG1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に対する予防効果が示唆されている。
（2）他のウイルスに起因する胃腸炎を予防することはできない。

用法・用量

乳児に通常、4週間以上の間隔をおいて2回経口接種し、接種量は毎回1.5mLとする。

用法・用量に関連する接種上の注意
（1）接種対象者・接種時期　生後6週から初回接種を開始し、少なくとも4週間の間隔をおいて2回目の接種を完了する。遅くとも生後24週までには接種を完了させること。また、早期産児においても同様に接種することができる。なお、初回接種は生後14週6日までに行うことが推奨されている。*
（2）接種方法　1）本剤は経口接種だけに限り、絶対に注射してはならない。 2）接種直後にワクチンの大半を吐き出した場合は、改めて本剤1.5mLを接種させることができる。
（3）他のワクチン製剤との接種間隔　生ワクチンの接種を受けた者は、通常、27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた者は、通常、6日以上間隔をおいて本剤を接種すること。ただし、医師が必要と認めた場合には、同時に接種することができる（なお、本剤を他のワクチンと混合して接種してはならない）。
*CDC. MMWR Recomm Rep. 2009; 58(RR-2): 1-25.

接種上の注意

1. 接種要注意者（接種の判断を行うに際し、注意を要する者） 被接種者が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質を勘案し、診察及び接種適否の判断を慎重に行い、予防接種の必要性、副反応、有用性について十分な説明を行い、同意を確実に得た上で、注意して接種すること。（1）心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する者 （2）予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者 （3）過去にけいれんの既往がある者 （4）免疫機能に異常がある疾患を有する者及びそのおそれがある者、免疫抑制をきたす治療を受けている者、近親者に先天性免疫不全症の者がいる者［「重要な基本的注意」及び製品添付文書「臨床成績」の項参照］（5）胃腸障害（重度又は慢性の胃腸疾患、感染原因を問わない感染性胃腸炎等）を有する乳児における本剤の有効性及び安全性は確立していないので、予防接種上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ接種すること。

2. 重要な基本的注意 （1）本剤は、「予防接種実施規則」及び「定期の予防接種実施要領」を参照して使用すること。（2）被接種者について、接種前に必ず問診、検温及び診察（視診、聴診等）によって健康状態を調べること。（3）被接種者及びその保護者に、接種当日は過激な運動は避け、また接種後の健康監視に留意し、体調の変化、さらに高熱、けいれん等の異常な症状を呈した場合には速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。（4）本剤の接種が開始される生後6週時点においては免疫不全症の診断は困難であり、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）感染症以外の免疫不全者に対して、本剤の有効性及び安全性の臨床データはない。免疫機能に異常がある疾患を有する者及びそのおそれがある者、免疫抑制をきたす治療を受けている者、近親者に先天性免疫不全症の者がいる者に本剤を接種する場合は、免疫不全症を疑わせる症状の有無に十分注意し、慎重に接種すること。［「接種要注意者」及び製品添付文書「臨床成績」の項参照］（5）被接種者の保護者に、腸重積を示唆する症状（腹痛、反復性の嘔吐、血便排泄、腹部膨満感、高熱）を呈した場合には速やかに医師の診察を受けるよう事前に知らせること。［海外では、ほとんどの腸重積症例が本剤の初回接種から7日間以内に報告されている（「副反応」及び製品添付文書「その他の注意」の項参照）。］（6）本剤と他のロタウイルスワクチンの互換性に関する安全性、免疫原性、有効性のデータはない。

3. 副反応 国内臨床試験において、接種症例508例中、接種後30日間に報告された主な副反応は、易刺激性37例（7.3%）、下痢18例（3.5%）、咳嗽／鼻漏17例（3.3%）であった（承認時）。

●その他の接種上の注意等、詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

ウイルスワクチン類　薬価基準未収載
生物由来製品　劇薬　処方せん医薬品（注意-医師等の処方せんにより使用すること）

ロタリックス®内用液

Rotarix® 経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン

販売提携（資料請求先）
ジャパンワクチン株式会社
東京都千代田区四番町6
【製品に関するお問い合わせ・資料請求先】ジャパンワクチン株式会社 お客様相談室
Tel:0120-289-373（平日9:00～17:30 土、日、祝祭、当社休日除く）

販売元
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

製造販売元（輸入）
GlaxoSmithKline
グラクソ・スミスクライン株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15

改訂年月2013年1月

細菌ワクチン類　生物学的製剤基準　薬価基準：適用外

プレベナー13®水性懸濁注

新発売

沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン（無毒性変異ジフテリア毒素結合体）

生物由来製品　劇薬　処方せん医薬品　注意ー医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「接種不適当者を含む接種上の注意」等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売
ファイザー株式会社
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
資料請求先：製品情報センター

販 売
武田薬品工業株式会社
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2013年10月作成

いのちを守るワクチンを

ワクチン・トキソイド混合製剤　生物学的製剤基準

沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ(セービン株)混合ワクチン

テトラビック®皮下注シリンジ

生物由来製品、劇薬、処方せん医薬品[注)]	注)注意ー医師等の処方せんにより使用すること

［薬価基準適用外］

効能・効果、用法・用量、接種不適当者を含む接種上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元
一般財団法人阪大微生物病研究会
香川県観音寺市八幡町二丁目9番41号
〈資料請求先〉吹田市山田丘3番1号

販売元〈資料請求先〉
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区北浜2-6-18

2014年3月作成